

2015年度 年 報  
—自己点検・評価報告書—

天使大学 看護栄養学部  
天使大学大学院看護栄養学研究科

## はじめに

教員には、所属する教育研究組織が適切に活動しているかについての自己吟味が求められています。そのために計画し実行した教育・研究活動について自らが評価して改善していく PDCA サイクルがあります。本学では自己点検評価委員会に、自己点検評価に関する方針・実施基準に基づきその実施・報告に関する事項を担って頂いています。2015年度の自己点検評価結果については、報告書の発行に先立って3月の教育研究評議会に報告して頂き、全学的に点検評価の結果を共有しました。今後は評価点検結果に基づき対応・改善するための「Act」の部分について本学のシステムを構築する必要があります。その一環として2015年度からは学生による授業評価に応える教員側の対応について教務委員会に替ってFD委員会において検討して頂いています。その検討結果を教育研究評議会や教授会等で共有し、講義等の改善に生かしていくことを願っております。大学という有機体の前進のために自己点検評価委員会が引き続き、本活動を熱心に推進して下さることを期待しております。

ところで、学長方針として2015年度から教学の重点目標の一つに大学院の充実を挙げましたが、教員組織の充実と学生確保が課題です。2016年度からは修士課程に保健師コースが増設され、5名の院生を迎えてスタートしています。また、日本看護系大学協議会のがん専門看護師38単位教育課程の申請も承認されました。今後さらに専門看護師コースの増設と博士課程の設置の検討を行う必要があると考えています。そのためには、大学院を担当できる教員の充足が必須です。看護系大学・学部・学科の新設が続く上に、栄養学部・学科の新設も道内で複数予定されていますので、教員確保には相当の努力を要しますが、これなしには本学の将来は無いと改めて課題達成のための思いを強くしております。

さて、ここに、2015年度年報をお届け申し上げます。学外関係者の皆様には、平素の本学の運営へのご理解、ご支援を深く感謝申し上げますと共に、本年報にお目通し頂き、ご意見、ご批判を頂きたく存じます。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2016年6月

天使大学  
学長 武藏 学



## 自己点検・評価報告書

## 目 次

I. 教育課程	1
1. 教務委員会	1
2. 看護学科	2
3. 栄養学科	3
4. 教養教育科	5
5. 看護栄養学研究科	6
II. 学生の受け入れ	7
III. 教員組織	9
IV. 研究活動・研究環境	10
V. F D活動等	13
VI. 社会貢献	14
VII. 学生生活	19
VIII. 就職支援	22
IX. 図書館	23
X. 情報処理システム	24
XI. 施設・設備	25
XII. 管理運営	26
XIII. 財務	27
XIV. 事務組織	28
XV. 自己点検・評価活動	29

# I. 教育課程

## 1) 教育課程の運営

担 当：教務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護栄養学部教育の質保証に関すること</li> <li>2. 教育方法の評価と改善に関すること</li> <li>3. 学習環境の点検・整備</li> <li>4. 規程改正に関する検討</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育の質保証に関する件             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教育課程に関する課題の改善 看護学科で検討した教育課程の変更を受け、履修規程を改正した。2年次進級要件の専門教育科目必修13科目を12科目に、3年次進級要件の専門教育科目53単位を51単位に改正し、2016年度入学生から適用する。</li> <li>2) 再履修者の授業科目配置対応について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 看護学科では再履修者、再履修科目が少数であったため、授業予定を組むことができたが、多数となった場合は困難である。</li> <li>(2) 栄養学科では再履修者の学年進行に伴い人数と科目数が多く、二重登録とならないように再履修者のための授業配置を行った。進級要件は実習科目の履修に必要な科目が分かりにくいいため、各学年の進級要件にただし書きを追記した。</li> <li>(3) 教養教育科目は栄養学科では4年次まで履修出来ることになっているが3,4年次での授業配置は困難なことから1,2年次までに履修するよう指導する。 現行カリキュラムでは ①予習復習時間の確保が困難 ②栄養学科では後期授業が平日のみで時間割が組めず、土曜日開講で対応している ③編入学生の単独開講科目も土曜日開講で対応している等の課題がある。専門職業人養成学士課程について、学部のカリキュラム検討委員会と連携し、検討する必要がある。</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2. 教育方法の評価と改善に関すること 定期試験実施時の専任教員担当科目については担当教員の責任において枚数確認する事とした。今後、試験解答用紙フォーマットの改善を検討する。</li> <li>3. 学習支援・学習環境の整備             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学習支援に関すること                 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 履修ガイダンスの実施方法は効果的であった。</li> <li>(2) 試験などに関するケアレスミスの予防：2015年度は7件のトラブル等があった。</li> <li>(3) 休学や学費延納の学生への支援を学生支援教員と連携して行った。</li> </ol> </li> <li>2) 学習環境の整備 学生・教員・事務サービス改善のためポータルサイト（T-NAVI）の2016年度導入に向けシラバス作成、履修登録等の準備を行った。</li> </ol> </li> <li>4. 規程改正             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 履修規程の改正：重複履修の禁止・成績評価・進級要件の変更</li> <li>2) 学校教育法改正に伴う諸規程改正：教務委員会規程、履修規程、編入学・転入学・再入学・転学科・外国人留学生の入学・研究生・科目等履修生・特別聴講生・委託生に関する規程、他大学等における履修の取扱いに関する規程</li> </ol> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現行カリキュラムの課題と改善</li> <li>2. 「授業科目の成績評価に対する意見申出」の申請手続き、内容の検討</li> <li>3. 学習環境の整備</li> <li>4. 新規導入ポータルサイトのリスク管理</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>教育の質保障に関する件では、看護学科・栄養学科・教養共育科それぞれ意欲的に取り組んでいる点を評価します。しかし、今年度も試験に関するケアレスミスが発生しています。ケアレスミス予防に向けて更なる継続検討をお願いします。また、ポータルサイトの安定した運営に向けて、十分なリスク管理を期待します。</p>

I. 教育課程

2) 看護学科

担当： 看護学科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カリキュラムの実施・充実：教育達成に向けた教育</li> <li>2. 学生支援の促進と評価</li> <li>3. 教員の教育研究活動の推進</li> <li>4. 教育指導体制の充実</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カリキュラムの実施、充実に向けての点検・円滑な運用・評価             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2012年度カリキュラムの課題を精査し、学習進度やバランスを考慮した科目配置、科目構造を一部改訂し文科省に申請、受理された。2016年4月からの入学生に適用する。</li> <li>・昨年度の評価から、図書館・情報処理室の開放時間延長の要望が出されたが今後検討となった。しかし、事例研究のための図書貸出冊数は増冊になり、文献複写補助も2016年度予算に計上したことから学習意欲につながると考える。また、正課外教育に対する学生や教員からの意見のうち、4年修養会については1日実施となったが、今後は学部全体の課題として持ち越しとなった。</li> </ul> </li> <li>2. 学生支援の促進と評価             <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数制の学生支援体制を組み、各学年の学習段階に応じて学生支援にあたった。</li> <li>・学習支援プロジェクトによる看護師保健師国家試験に向けて到達度テスト実施、学習ガイダンス、低学年の専門基礎科目の学習支援は学習の動機付けとなった。</li> </ul> </li> <li>3. 教員の教育研究活動の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護学科の文部科学省科学研究費補助金獲得（研究代表者）は継続3件で新規はなし、特別研究費助成は継続2件、新規3件で昨年より増加した。また、博士課程へは昨年同様2名在籍（長期履修）で、研修日申請は昨年より2件で減であった。これらの要因として、教員体制が不十分なため授業・実習へかかる負担が大きいこと、教員への研究指導体制が不十分なことも研究活動に影響していると考えられる。</li> <li>・看護学科内の自己点検評価委員会の主導の下、学科会議において学会等の参加の伝達講習会を6回、計14件行い領域を超えて学ぶ機会になった。</li> </ul> </li> <li>4. 教育指導体制の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度は定員33名中26名で始動し、8月以降29名（大学院特任教授1名含む）在籍しているが、専門領域では3名不足で教員体制は不十分な状況が続いている。2016年度には1領域を除いて配置のめどがついたが安定的な配置が必要である。</li> <li>・実習指導力向上と指導者との連携のために研修会を行った。異なる病院の指導者、実習指導教員が指導上の課題を共有し、学生への関わりを考える機会になった。</li> </ul> </li> <li>5. その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のSNSを通しての情報発信方法がモラルをふまえていない状況等が見受けられたため学生支援教員を中心に対応したが、一部の学年の問題ではなく学科の問題として考えていくことが必要である。</li> <li>・成績評価に対する意見申し出の対応についてのシステム化はまだ整備されていない。</li> </ul> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. カリキュラムの実施・充実：実践力、主体的学習行動、判断力育成を目指す。</li> <li>2. 学生支援活動の充実：学生支援教員と当該領域教員との連携を継続する。</li> <li>3. 教員の教育研究活動の推進：研究資金獲得や研修日の確保への各領域での体制作り</li> <li>4. 教育指導体制の充実：職位や年齢構成を考慮した安定的な教員配置をめざす。</li> <li>5. その他：学生生活上の課題は継続して支援していく。意見申出に対する手続きのシステム化については教務委員会との連携を図る。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学習支援では学年、学習段階に応じた支援や、プロジェクトによる支援を行い学生の動機づけにつながったことは評価します。教員の研究活動、教育指導体制、学生教育などについて継続的な検討を期待します。</p>

I. 教育課程

3) 栄養学科

担 当：栄養学科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正課教育、正課外教育（修養会等行事を通じたカトリック大学としての理念教育）の充実</li> <li>2. 就職支援対策の充実</li> <li>3. 研究活動及び地域連携の推進</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ①カリキュラムマップやカリキュラムツリー、またカリキュラム全体について、学部カリキュラム検討委員会での検討事項を踏まえ、学科カリキュラムワーキングにおいて検討する予定であったが、学科内での科目担当教員からの課題を集約できず、本年度は検討まで至らなかった。次年度以降、検討事項の見直しをかけながら、学科全体で進める予定である。 ②臨地実習について実習担当者を中心として、実習指導や巡回など学科全体が協力して進めることができた。実習施設との連絡連携については、学生対応でいくつかの課題はあったが、全体としてはスムーズに行えた。 ③国家試験対策の支援方法として新しく MOODLE（オンライン教育システム）を利用して実施したが、2年目となり担当教員、学生ともにスムーズに利用できていた。模擬試験結果は、昨年度より平均点が上昇した。また模擬試験成績下位者を対象に面談を行い、学生のやる気につながるようなサポートを行った。</li> <li>2. 就職支援対策では、学科の就職委員及び学生支援教員を中心として、個人面接を行い、学生の希望に沿った就職支援を実施した。学生の就職希望先が多極化していることから、就職委員会との連携をさらに深めながら、よりよい就職につながるようサポートした。就職委員会が実施する対策講座への参加支援なども実施した。 栄養教諭の合格者を3名出したが、いずれの学生も他への就職が決定し辞退してしまったため、今後受験への心構えについての検討を要する。</li> <li>3. 今年度から始まった「農林水産省異分野融合共同研究『世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証』」は次年度も継続的に実施予定。産学官連携は、昨年同様実施されている。本年度も科研費などの学外資金を獲得した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学部・学科のカリキュラムポリシー・ディプロマポリシーに即したカリキュラムの見直しを行う。</li> <li>2. 管理栄養士国家試験について学科全体で対策を検討し、合格率100%を目指す。</li> <li>3. 個々の学生に適した就職支援のあり方について検討する。</li> <li>4. 社会・地域貢献の一環として地域連携をより積極的に推進する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学科内でのカリキュラム検討による3つのポリシーの明確化と、科目との関連性など、より具体的な成果として見えるカリキュラムの検討に期待します。国試に向けての対策はそれなりに効果が見られ評価しますが、国試の合格率から学科の指導上の課題等、問題点の洗い出しも必要かと思われます。栄養教諭の合格者3名出すために教職課程委員会を中心に努力が伺えるが、3名全員の辞退については、学科と教職課程委員会との連携の中、より一層の教職への意識化教育の検討を深めて頂きたい。</p>



I. 教育課程

3) 栄養学科－教職課程

担 当：教職課程委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 教職課程教育の充実 2. 教員採用試験の受験支援の強化 3. 栄養教諭免許状更新講習の計画および実施</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教職課程教育の充実 1) 現職の栄養教諭による授業組み込みによる充実 ①「栄養教育実習事前事後指導」の1回：「学校現場の実態」のテーマで小学校栄養教諭が実施。②「教職実践演習」の1回：「年間指導計画と効果的な食指導」のテーマで小学校栄養教諭が実施。③「教職実践演習」の1回：「特別支援学校の栄養教諭業務」のテーマで特別支援学校栄養教諭が実施。＊いずれも、授業後のレポートで授業効果が確認された。 2) 外部との連携による充実 ①北大農場実習 i)「ベリー類の特性についての学習と収穫体験」（「教職概論」の1回） ii)「田植え・稲刈り・収穫体験・調理体験」（正課外、1年次） iii)「新米官能評価」（正課外、1年次） iv)「北大生対象新米による調理指導」（正課外、3年次） ②小学校インターンシップ（正課外、札幌市立小3校で実施、2年次学生） ③中学校授業参観（3年次「教職総合演習」、札幌市立中1校で実施） ④北光児童会館での児童への栄養教育（4年次「教職実践演習」） ⑤サッポロさとらんどでの栄養教育（4年次「教職実践演習」・3年次「教職総合演習」）＊以上については、事後のレポート、アンケート、感想により、学生にとり驚き、発見、学びが多く、その効果が確認された。 3) その他 ①履修カルテの改訂 ②「履修要項」記載の改善 ③情報公開HP新設 2. 教員採用試験の受験支援の強化 平成28年度北海道・札幌市教員採用試験の受験支援を、外部講師を含めて行った。結果、13名の受験者中8名が1次合格、うち3名が登録となった。この結果は平年並みであり、目標は一応達成されたが、一層の強化をはかる必要がある。 3. 栄養教諭免許状更新講習の計画および実施 実施計画の策定を行い、8月5日、本学山部秀子教授による「北海道の食文化について」をテーマとする講習を実施した。栄養教諭36名が受講し、事後アンケートでも概ねよい評価を受け、目標は達成された。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 教職課程教育の充実 今年度に引き続き実施し、改善を図るとともにシステム化する必要がある。 2. 教員採用試験の受験支援の一層の強化 合格・登録者数を高めるための支援強化が必要である。 3. 栄養教諭免許状更新講習の実施 受講希望者の存在を考慮して、本年度に引き続き実施する必要がある。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>教職課程教育の充実のために、現職栄養教諭による授業や外部との連携により学生の関心が高まったことは評価します。どのような点で効果として判断したのかの標記がほしい。これらをシステム化することに期待すると共に、評価可能な具体的目標レベルが必要。 教員採用試験の受験支援に関しても細かな配慮と努力を評価します。合格率を明示し、問題点を提示して、支援強化につなげて頂きたい。3名の登録者が他への就職が決定し辞退との状況をどのように評価しているか、対策についての明示がほしい。 栄養教諭免許状更新講習の効果が見られたこと、評価します。目標に合った講演の検討による継続に期待します。</p>

I. 教育課程

4) 教養教育科

担 当：教養教育科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初年次教育関連             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 英語教育 前年度に引き続き、G-TELP を用いた習熟度別クラス分け、到達度評価をおこなう。</li> <li>2) 共通基礎科目 高等学校の新しい教育課程を踏まえ、入学前教育・導入教育をおこなう。</li> <li>3) 専門基礎科目との連携 カリキュラム検討委員会での議論を踏まえ、効果的な連携を目指す。</li> </ol> </li> <li>2. 学外研修関連 初年次教育や教養教育に関連する学外研修に参加し情報収集に努める。</li> <li>3. その他 カリキュラム検討委員会での議論を踏まえ教養教育の充実を目指す。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 初年次教育関連             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 英語教育 G-TELP を使い、習熟度別クラス分け、および到達度評価をおこなった。</li> <li>2) 共通基礎科目生物学および化学について、入学試験の合格者に対して、問題集を配布・回収・採点などの入学前教育・導入教育をおこなった。また、入学後に診断テストをおこない、高等学校の新しい教育課程下における理科科目の定着状況をおこなうとともに、習熟度別クラス分けなど履修指導に活用した。</li> <li>3) 専門基礎科目との連携 カリキュラム検討委員会において、教養教育科で定めている教育課程について、現状および問題点を報告した。例えば授業時間割が過密であることなど、看護・栄養の両学科も問題としている部分を情報共有できた。</li> </ol> </li> <li>2. 学外研修関連 本年度の予算として、「初年次教育学会」(明星大学)への参加費用が認められなかった。このため、今年度は学会員である教員が教育研究費により参加した。この他、「東北・北海道地区大学等・高等共通教育研究会」(山形大学)に参加した。また、三月には「大学教育研究フォーラム」(京都大学)に参加する予定である。 いずれも、他大学における教養教育や共通基盤・基礎教育に関する情報収集ができた。カリキュラム検討委員会等における議論や検討の基礎となる。</li> <li>3. その他 カリキュラム検討委員会では、共有された問題点の解消・解決に向けた議論までは至らなかった。委員会は次年度以降も継続されるので、引き続き、検討を続ける。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学前教育、導入教育を含む、初年次教育関連の充実を目指す。</li> <li>2. 教養教育や共通基盤・基礎教育充実のため、学外研修等へ参加し、情報収集に努める。</li> <li>3. 教養教育科の自己点検評価活動を、次年度の研究・教育へ活かす。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>入学前教育・導入教育を生物学および化学で実施していることは評価します。今後は効果を判定し、改善さらに学科の専門科目担当教員との連携を充実して、学生の理解を高めていくための検討がされることを期待します。</p>

I. 教育課程

5) 看護栄養学研究科

担当： 看護栄養学研究科

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2016 年度カリキュラム改正に向けた実施体制の整備</li> <li>2. 大学院生定員確保のための対策</li> <li>3. 看護栄養学研究科のFD の企画・運営</li> <li>4. 本学の特色を活かした実践的な共同研究の推進</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<p>2015 年度は、看護学専攻修士課程 5 名（ホスピス緩和ケア看護学コース 2 名、公衆衛生学コース 1 名、成人看護学コース 1 名）が修士（看護学）を取得した。そのうち、1 名が長期履修制度を利用した。</p> <p>個々の活動目標に対する評価を次に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2016 年度カリキュラム改正に向けた実施体制の整備             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 看護学専攻保健師コース(保健師教育課程)58 単位の変更申請、高度実践看護師課程(ホスピス緩和ケア看護学コース)38 単位認定審査を申請し承認を得た。</li> <li>・ 看護栄養学研究科としてカリキュラムを改正し、両専攻共通科目（10 科目）を設定した。</li> </ul> </li> <li>2. 大学院生定員確保のための対策に向けて、以下の活動を実施した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養管理学専攻では、天使祭説明会（6/13、相談者無）、4 年次生対象説明会（6/16、61 名参加（昨年度 46 名）、第 13 回日本栄養改善学会北海道支部講演要旨集への広告記事（12/ 5）、既資料請求者にダイレクトメール（8 月上旬、14 件）とクリスマスカード（12 月中旬、18 件）送付、看護栄養学研究科 FD 研修会 HP 広報（12/19）、研究科・北海道栄養士会共同開催研修会（12/19）案内送付時に看護栄養学研究科のフライヤーを同封。以上の広報活動を通して卒業生、専門職団体の人々の大学院進学の可能性は低くはないと推察するが、その掘り起し策を講じる必要がある。2016 年度入学生がいなかったことを真摯に受け止め、今後の広報活動を展開したい。</li> <li>・ 看護学専攻では、天使祭説明会（相談者 1 名）、4 年次生対象説明会（4/28、26 名参加）、ダイレクトメール・クリスマスカードの送付、FD 研修会 HP 広報を実施した。</li> </ul> <p>2016 年度入試の結果、保健師コース 5 名の入学が確定した。</p> <p>収容定員に対する在籍学生比率は、看護学専攻 36.4%、栄養管理学専攻博士後期課程 50%、栄養管理学専攻博士前期課程は 100%で前年度から低下した。</p> </li> <li>3. 大学院看護栄養学研究科合同 FD を実施した。2016 年度保健師コースの増設もあるため「これからの地域包括ケアを担う人材育成について」をテーマに、吉田看護学専攻主任が「本学大学院における保健師教育」について、神奈川県立保健福祉大学杉山みち子教授が「大学院修士課程における栄養ケア・マネジメントのインターン研修」で高度専門職としての管理栄養士育成の実際を講演した。教員、院生等 24 名の参加を得た。[学内教員 18 名（栄養 9 名、看護 8 名、助産 1 名）、外部者 6 名（院生 2 名、卒業生 1 名、病院 3 名）]</li> <li>4. 両専攻の共同研究の一つとして一昨年度スタートした「本学修士課程修了生に共通するコンピテンシーの明確化」の研究成果を学内外に発表した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入学生確保に向けた広報活動の充実、奨学金制度の整備・拡大、e ラーニング等を活用した遠隔教育の検討</li> <li>2. 大学院の教員体制の整備、インセンティブとして研究費の付与などの検討</li> <li>3. 大学院の組織体制（各種委員会）の検討</li> <li>4. 看護学専攻のコースの拡大</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>次年度の活動目標が、今年度の課題と整合性あるものとなるよう期待します。</p>

## II. 学生の受け入れ

担当： 入試委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 引き続き適切な入学試験の実施・運営に万全を期する。大学入試センター試験においても共同実施校と連携を図りながら遺漏なく試験を遂行する。</li> <li>2. 個人面接試験、小論文試験は、2014年度の評価結果に基づき、評価項目や運営方法等を再検証し、さらなるブラッシュアップを図る。</li> <li>3. 「入学試験選抜制度の見直し」は、中央教育審議会の答申、高大接続特別部会、教育再生実行会議の審議内容をふまえてさらに検討し、一定の方向性を示す。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 円滑で遺漏のない入学試験実施のため、監督者等による事後アンケート結果等をもとに入試委員会で仔細におよぶ改善点を列挙し、それらについて概ね改善した。  「推薦・社会人・編入学試験 各担当教員分科会」では、前年度の事後アンケート結果等をもとに、新たに「試験監督者」に対する分科会を実施した。  大学入試センター試験では、共同実施校と連携を図りながら準備を進め、試験当日は「発病受験者の別室受験」等のイレギュラーな事案にも対応しながら、円滑に試験を実施した。  センター利用入学試験面接試験で、誘導掲示の受験番号の誤記（1件）があった。迅速な対応で大過に至っていないが、入試委員会としてチェック体制を再確認し、再発防止策を講じた。  入試関係文書の保管・廃棄について他大学の状況を踏まえて取り扱いを明確にし、内規を策定し、文書の整理を行った。  入学試験の厳正な実施のため、入試関係機密書類の印刷・複写をする複合機の購入を予算要求し、2016年3月に設置されることになった。</li> <li>2. 個人面接試験の評価項目および個人面接試験評価票について精査し、昨年度の事後アンケートの内容も踏まえ、今年度については、内容について変更しないことを確認した。一方、小論文試験の評価項目については、点数化の基準および表現を修正した。</li> <li>3. 行政的動向および他大学の状況を注視しながら、当面の「入学試験選抜制度の見直し」については、「指定校推薦」枠の取消しに加え、新規設置および取り消した指定校の再設置の基準を含めた内規（「指定校推薦」枠の新規設置及び取消しに関する内規）を入試委員会で策定し、教授会に提案し了承された。  「進学校に対する指定校推薦枠の設置」、「高等学校への入試情報の提供の是非や範囲等の検討」、「2016年度入試問題難易度の分析」を次年度に向けて検討することを確認した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 引き続き適切な入学試験の実施・運営に万全を期する。大学入試センター試験においても試験場責任大学として、共同実施校と連携を図りながら遺漏なく試験を遂行する。</li> <li>2. 個人面接試験において、指定校推薦入試の評価について点数化によらない評価等を検討していく。また、小論文試験は、評価項目や採点方法、原稿用紙の書式等をさらに点検・検討していく。</li> <li>3. 「入学試験選抜制度全体の見直し」について審議を継続し、特に「進学校に対する指定校推薦枠の設置」、「高等学校への入試情報の提供の是非および範囲等の検討」、「2016年度入試問題難易度の分析」を行っていく。また、「編入学試験追加合格制度」についても検討を行っていく。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>円滑かつ厳正な入学試験のための準備から実施への取り組みを評価します。センター入試での誤標記の対処は再発防止への機会とし、責任校として遺漏無く遂行できることを期待します。18才人口減少と共に市内大学増設に伴う受験者数減少に対する対策として、今年度の課題として提示されていることへのより具体的な検討に期待します。</p>

## II. 学生の受け入れ

担当：広報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本学の限られた広報予算・人的資源を考慮し、「学生募集広報（志願者を集めるための広報）」に注力する。</li> <li>2) 志願者を野放図に集めるのではなく「本学のアドミッション・ポリシーに合致した学生（＝本学とのミスマッチのない学生）」、「より学力の高い学生」が出願するための広報戦略を立て、それに基づいた活動を行う。</li> <li>3) 広報に関するデータを集計・分析し、それを生かして広報効果の最大化を図る。</li> <li>4) さまざまな場面で学生のアイデアや視点を取り入れるなど、学生に対し広報活動への協力を積極的に要請する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<p>2015年度広報委員会活動計画に対する各評価は次のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学案内パンフレットをブラッシュアップする。 大学案内パンフレットについては、昨年度まで依頼していた制作委託業者から変更をし、さらに受験者へ本学を訴求できるようにフルモデルチェンジして製作をした。</li> <li>2. オープンキャンパスをブラッシュアップする。 受付体制の見直し、学生による司会、交流会会場の変更、施設見学等の時刻表作成など運営面でのサービス向上を図るとともに、入試対策情報の見直し、小論文対策講座の外部講師派遣依頼、昨年度とテーマを変えた学生トークライブなどプログラムにおいてもブラッシュアップをし、参加者の高い評価（満足度）を得た。</li> <li>3. 本学 Web サイトをブラッシュアップする。 スマートフォン向けのテスト画面を作成し、ユーザーの意見を反映させながら、さらにブラッシュアップさせていく。また、本学ホームページのリニューアルは手付かずであったため、次年度大学案内の情報などを参照しながら、変更していく。</li> <li>4. 広報効果の最大化を図るため、広報戦略を立てる上でのデータを見直すとともに、分析力を強化する。 オープンキャンパスアンケートの質問項目を拡充し、より細かな分析を可能とした。また、入学志願者・合格者・入学者数の推移（6年分）を入試種別ごとに「ランク別」「地域別」等にグラフ化し、さらに志願者数減少が顕著な高校（札幌・地方）への追跡調査を行い、これらを基に2016年度入学志願者数減少等の要因分析を行った。</li> <li>5. 大学院看護栄養学研究科、栄養学科3年次編入学試験の定員確保に向けた、効果的な広報策を検討する。 編入学試験の広報については、全道各地の短期大学訪問を行い、担当教職員との情報交換を密に行った。看護栄養学研究科については、大学案内を一新し、保健師コースの新設および専門看護師養成課程の改訂を含めたPRの強化に努め、さらに学会誌への広告掲載、栄養士会会員へのDM発送も行った。 これらの結果、栄養学科3年次編入学志願者は8名（定員5名）、大学院看護栄養学研究科は、看護学専攻の保健師コースで定員（5名）を満たすことができたが、他コースおよび栄養管理学専攻で定員を確保することができなかった。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護栄養学部については、「接触者数の増加」「接触者の志願率・入学定着率の向上」の目標の下で、広報活動を展開する。中でも、2016年度は「接触者数の増加」を最重点課題とし、地方の進学相談会への参加会場数増加やオープンキャンパスへの動員（告知）強化等を行う。</li> <li>2. 受験生の受験行動（志望校検討・決定プロセス等）に合わせたセグメント式広報活動を早期（4月）から展開する。また、次々年度以降の大学案内の早期完成などの検討も併せて行う。</li> <li>3. オープンキャンパスなどで魅力あるコンテンツを発信し、志願者数確保につなげる。</li> <li>4. 大学院看護栄養学研究科の広報活動強化の具体策を検討し、実施する。</li> <li>5. スマートフォン向けのホームページを運用し、情報発信を行っていく。また、学内教職員への諸活動等に関する掲載情報提供の要請をする。</li> <li>6. 継続的な志願動向等分析活動および各機関へのフィードバックを行い、各機関との連携強化を図る。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>広報効果の向上のために6年分の入試に関するデータから2016年度入試の要因分析を行ったことは評価します。18歳人口の減少を見据え、今後もデータ管理を行って入学志願者増加の検討を期待します。また、大学として入口と出口のデータの1本化を図るという点で就職委員会等との連携を検討されることを期待します。</p>

### Ⅲ. 教員組織

担 当：自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。</li> <li>2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員を確保する。</li> <li>3. 大学院の組織体制を検討する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「教育研究組織としての適切性」の検証について              大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する必要があるが、自己点検委員会や、毎年度の人事方針や具体的な人事配置の検討の中で教育研究組織としての適切性の検討を引き続き行う。</li> <li>2. 教員組織について             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2015 年度人事方針において、看護栄養学部の教員定数は 67 名以内、助産研究科は 15 名以内、嘱託教員数は 3 割程度とした。                  看護栄養学部の教員定数 67 名の内訳については、看護学科 33 名、栄養学科 27 名、教養教育科 7 名である。</li> <li>(2) 人員の確保については、看護学科教員の人材確保が極めて厳しい環境の中で、教員採用については全学的な取り組みを行っている。採用手続きについては迅速性や簡素化が求められており、今後、規程等検討委員会等で検討を要する。</li> </ol> </li> <li>3. 大学院の組織体制について              大学院の組織体制については、大学院課程等増設検討委員会において検討を行い、2016 年度看護学専攻に保健師課程（保健師コース）の変更承認を受け生徒募集を行なった。また、高度実践看護師教育課程がん専門看護師コース 26 単位から 38 単位の変更認定されたところであり、今後、CNS コースなどの増設、博士課程の設置等については組織体制等について検討を行うこととし、2016 年度は同委員会を設置しないことにした。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学基準協会の認証評価の「教育研究組織としての適切性」については教育の質保証の観点から、教育内容と教員の研究環境のあり方に配慮しながら定期的に検証する。</li> <li>2. 教員組織については、将来的な課題に対応した教員組織を整備し、組織的な連携体制を構築するとともに全学的な取り組みの中で定員を確保する。</li> </ol>
<p>自己点検評価委員会からの評価</p>	<p>欠員は、人事方針に基づき募集・充実を図る必要があると思います。修士課程に保健師コースが増設され、がん専門看護師 38 単位の申請も承認されましたが、高度専門職養成に見合う教員組織の充実が必要です。また、大学院と学部の教育を兼務する教員の負担軽減、研究時間確保、研究費配分等についての検討も必要と考えています。（学長）</p> <p>教員組織・構成に関する問題点を十分に把握し、是正していく必要があります。また、教員の採用・昇任等の手続きについても、適切な運用を期待します。</p> <p>「教育研究組織としての適切性」について、質保証の観点からの定期的な検証をどのように行っているのか明確にし、評価する必要があると考えます。（自己点検委員会）</p>

IV. 研究活動・研究環境

担 当：学術振興委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究意欲の発揚と共同研究推進のために研究報告会の定例開催を行う。</li> <li>2. 紀要第 15 巻第 2 号、第 16 巻を発刊する。</li> <li>3. 競争的外部資金導入のための情報収集と研究環境整備について検討する。</li> <li>4. よろず相談を継続し、若手研究者育成のための具体的方策を検討する。</li> <li>5. 本学リポジトリの収録コンテンツに関する整備を行う。</li> <li>6. 本学の教育に関する講演会を企画・実施する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期研究報告会は、2015 年 8 月 4 日(火)に開催し、紀要執筆者 2 名、新任教員 2 名の研究報告が行われた。後期研究報告会は、2016 年 3 月 17 日(木)に特別研究費による報告 10 件を行った。</li> <li>2. 紀要は、再募集を行った第 15 巻第 2 号と第 16 巻の第 1 号及び第 2 号を発刊した。投稿者が激減していることについては、研究に関するアンケート調査結果を参考に次年度詳細な検討を行い、対応策を提示する。</li> <li>3. 今年度の科研費採択数は新規 1 件を含む計 4 件に留まった。申請件数は計 13 件。</li> <li>4. 若手研究者の多様な質問に応じることができるよう相談時の体制を確認した。また、研究に関するアンケート調査を実施したので、これに基づき若手研究者育成のための提言(項目 7)を行う。</li> <li>5. 過年度を含む博士論文と紀要論文及び研究ノートの掲載が最新分まで完了した。次年度からは、学会誌、商業誌に投稿された本学教員の論文について、収集方法等を具体的に検討し、リポジトリ構築の基礎固めをする。</li> <li>6. 本学教員の研究促進と注目の施策に関する講演会を企画し、好評を博した。 前期講演会は 2015 年 6 月 17 日(水)に北海道大学病院の佐藤 典宏 教授による『臨床研究の考え方、進め方—臨床研究初学者のための基本—』 後期講演会は 10 月 21 日(水)に新潟県立大学人間生活学部村山 伸子 教授による『健康日本 21(第二次)における栄養対策—国・自治体の動向と大学の役割』</li> <li>7. アンケート調査の評価と提言 本学の教員は教育や実習などの研究以外の時間が多くあり、研究の実施または指導する時間が少ないのが現状である。また若手研究者の育成方針が明確でない。この現状に鑑み、若手研究者育成のために以下の提言を行う。 1) 組織の見直し：教員定数を早急に充足させるとともに、助手・助教の定員を増やす。さらに研究指導者と若手研究者の一对一の研究指導体制を構築し、博士号を取らせる。 2) 研究費枠の増設：若手研究者向けの特別研究費の枠を設ける。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<p>例年の活動目標 6 項目については、これまでどおり実施する。 学術振興には若手研究者の育成が重要であるため、前記 7 の提言実現が望まれる。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨(2014)年度において指摘された、前年度の課題と本年度の活動目標との不整合は解消されており、PDCA サイクルの意識がみられます。</p>

IV. 研究活動・研究環境

担 当： 研究倫理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 迅速な倫理審査の実施</li> <li>2. 新倫理指針に合わせた委員会規程の改正とそれに伴う一部事業の予算化</li> <li>3. 研究倫理に関する研修活動と情報提供</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 今年度の申請から「天使大学における倫理審査のためのチェックリスト」も添付することとし、必要書類等の事前確認を申請者自身が行うようにした。しかし実際には、必要とされる書類や文言等が欠けるなど、内容をよく理解しないまま、ただチェックをした申請も多く、このチェックリストが十分に活用されたとは言い難い。今年度は全体で38件（内、取り下げ3件）の研究倫理審査申請があり、各申請に対しては、事務局を担当している財務室スタッフおよび委員長が最初に申請書類等を確認しているが、申請者本人のチェックが不十分なものがあつたため、その対応に相当の時間を要した。よって、次年度は、チェックリストの適切な使い方について、事前に周知徹底させる必要がある。          なお、研究期間の延長等、軽微な研究計画の変更については、届け出の書式を作成し、手続きの迅速化を図ることができた。</li> <li>2. 国の新指針「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に合わせた、本委員会規程の改正を規程等検討委員会および教育研究評議会に提案した。具体的な改正点としては、委員会構成員の変更（複数の外部委員、ほか）や迅速審査の導入、委員会審議事項へ利益相反も明記、など、いくつかの修正等を行った。          また、それに合わせて、今回初めて研究倫理委員会としての予算を計上し、外部委員の人件費や、研修会へ外部講師を招く際の謝金、学外の研修会等に委員が参加する際の旅費等を盛り込んだ。</li> <li>3. 従来同様、年度始めの早い時期に、本学での研究倫理審査申請の仕方等のガイダンスを実施した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外部委員を含めた新しい委員会構成の下で、従来通りの迅速な研究倫理審査を実施することが必要であり、その実現に向けた具体的な新たな取り組みが課題となる。</li> <li>2. 国の新指針に基づき委員会業務を遂行すること。たとえば、研究倫理に関する研修会の実施や、インターネットを利用した研究倫理の研修等の案内、など。</li> <li>3. 研究倫理に関する啓発活動と情報提供。学術振興委員会等、他の委員会とも連携しながら、研究倫理に関する情報提供を広く行うこと。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>昨(2014)年度の指摘にあつた、昨年度の課題と本年度の活動目標との整合性がわかり易く改善されました。PDCAサイクルの意識がみられます。</p>



IV. 研究活動・研究環境

担 当: 病原体等安全管理委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 天使学園病原体等安全管理委員会規程および天使大学病原体等安全管理マニュアルに従い病原体を安全に管理する。</li> <li>2. 病原体等の入手・分与を安全に実施する。</li> <li>3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 規程およびマニュアルに従い病原体を安全に管理した。</li> <li>2. 10月21日付で北海道大学大学院獣医学研究科からの天使大学が保有するリステリア菌株32株の分与依頼に対し、マニュアルに従い安全に菌株を分与した。</li> <li>3. 5月21日付の文部科学省の「病原性微生物等の保管・管理の徹底及び保有状況等の調査について（依頼）」に対し、6月18日付けで調査報告書を提出し、適切に対応した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 引き続き病原体を安全に保管・管理する。</li> <li>2. 病原体等の入手・分与の際に安全性を考慮し対応する。</li> <li>3. 文部科学省の病原性微生物の保管・管理の調査に対応する</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>活動計画に基づき安全に管理されています。</p>

V. FD活動教育活動

担 当：FD委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. FD研修会の開催： カリキュラムを中心としたFD研修会を開催する。</li> <li>2. 学生授業評価アンケートの実施と活用について：項目等の見直しと集計結果を基にした全学的な授業改善体制を再検討する。</li> <li>3. 授業概要・シラバスの記載方法の見直し（2013年度までのFD研修会効果検証）</li> <li>4. 外部研修会に委員を派遣し、積極的に情報収集する。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大阪大学教育学習支援センター副センター長であり全学教育推進機構准教授の佐藤浩章先生を講師に迎え、FD研修会を3月に開催した。テーマはアクティブ・ラーニング（以下ALと略す）の導入や実習、演習などで課題となる「パフォーマンス評価」とした。現状と将来に即した内容であり、アンケート結果からも満足度の高い研修会を開催できた。</li> <li>2. 「学生による授業評価アンケート」の実施がFD委員会に移管されたことを受け、アンケート項目、実施方法、集計表、委託業者等を見直して、2016年度から運用できる体制づくりを行った。 アンケート集計表に科目責任者が記載する「改善の方策」欄を設けたり、集計結果の公表を年度内に済ませるスケジュールとしたりするなど、「アンケート」集計結果を活用して全学的な授業改善につなげるための一歩を踏み出した。</li> <li>3. 教務委員会から「アンケート」の実施と見直しが移管され、2016年度からの実施に向けて検討したが、アンケート項目については各研究科・科・学科会議を経ての決定となるなど、各所との調整に時間を要したことで当初計画より遅延した。そのためこの項目を実施することができなかった。</li> <li>4. 昨年度同様に京都で開催されたFDフォーラムのほか、ALに関する研修にも参加するなど、積極的に情報収集した。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新版「アンケート」を円滑に実施して授業改善を促すとともに、その集計結果を基にした全学的な授業改善を進めるため体制を検討する。</li> <li>2. 2015年度に実施しなかった授業概要・シラバス記載方法の研修効果を検証する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>入学生の多様化に伴い、看護・栄養等の専門職の国家資格に伴う実践能力育成において、従来の教育法について今一度、見直しが求められる時代となりました。各学科の専門職者の能力育成に向けた、カリキュラム構成を点検して担当科目を位置づけ、学生の学習能力に応じた教授法等を再確認した上で、広く教員全体の教育力のスキルアップにつながる委員会活動を期待します。</p>

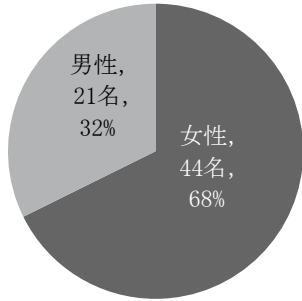
## VI. 社会貢献

担当：地域連携等委員会

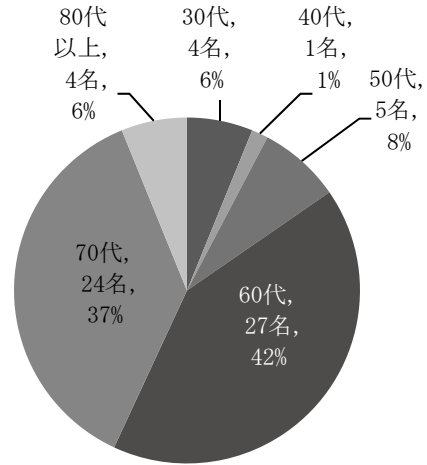
<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2015 年度天使大学・北海道薬科大学公開講座の実施・運営及び 2016 年度公開講座の企画・検討</li> <li>2. 東区役所との連携事業及び 5 者（東区役所、本学、札幌大谷大学・札幌大谷大学短期大学部、専門学校北海道体育大学校、札幌保健医療大学）連携事業の推進</li> <li>3. 大学間（北海道薬科大学等）の連携事業等の展開</li> <li>4. 地域・他大学との連携事業の実態把握</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北海道薬科大学（以下、「薬科大」という）と連携した公開講座は今年度で 5 回目である。薬科大と連携することにより、医療、薬、看護の分野から生活に役立つ情報をわかりやすく解説する講座を実施することが出来た。受講申込者は 2014 年度と比較すると 22%減少したが、アンケート結果（別紙 1）より受講者からの評価は高く、地域住民への有意義な講座を実施することができた。今後も、地域住民にとって有益な企画を立案していく。</li> <li>2. 東区役所と連携し地域住民対象に 9 件の事業を行った。各事業とも本学教員と学生ボランティアが協力し、本学の質的資源が地域住民に還元されたことは評価できる。これらの事業に関して継続できるようサポートする。 東区 5 者連携事業として、委員会が 2015 年 10 月実施の「ひがしく健康・スポーツまつり」で「天使大の健康塾」の企画・運営を行った。今年度より講座型の公開講座より地域住民参加型となり本学は学生ボランティア協力のもと、食事バランスチェック・血圧測定を行った。説明が解りやすく参考になったと好評で、今後も委員会として充実した企画・運営を行っていく。</li> <li>3. 大学間連携として、薬科大が主体で実施している夕張地域医療体験への学生参加者の募集を行い、事前準備・事後の報告会を行った。今後も薬科大と連携して継続していく予定である。</li> <li>4. 本学と地域・他大学との連携事業の実態を把握し、次年度以降も継続する。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公開講座で薬科大と連携することの利点を生かし、企画、運営について検討する。</li> <li>2. 5 者連携事業である「ひがしく健康・スポーツまつり」の「天使大の健康塾」について学生の参加を募り、充実した企画にする。</li> <li>3. 薬科大との連携事業では、夕張地域医療体験への学生参加者の支援、連携内容について薬科大から提案されたことについて検討する。また、他大学との連携等についても検討する。</li> <li>4. 本学教職員が地域・他大学と連携する事業等を把握し、地域社会へ貢献している現状を整理する。</li> </ol>
<p>評価委員会からの評価</p>	<p>北海道薬科大学と連携した公開講座に対して、受講者からの高い評価につながったことは評価できます。今後も有意義な講座運営を期待します。</p> <p>地域住民参加型となった東区 5 者連携事業で、学生ボランティアを含めた「天使大の健康塾」の企画・運営は、今後の在宅支援などにつながるものとして評価します。より一層充実した活動を期待します。</p>

回答数: 65

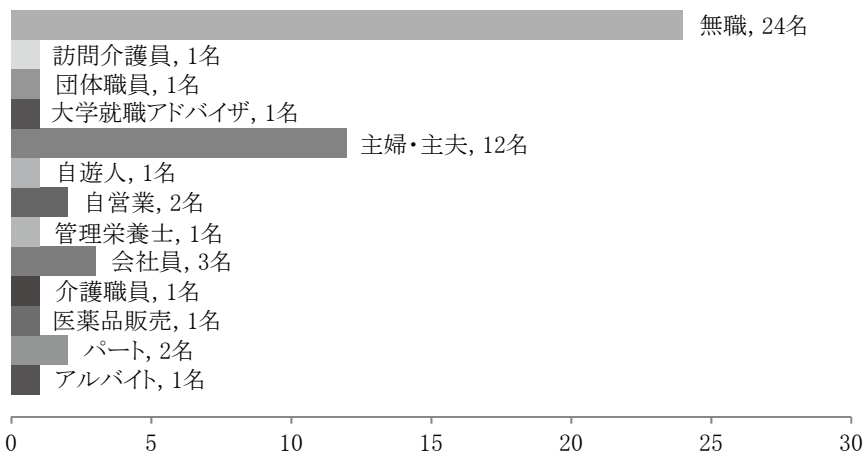
1.1) 男女別



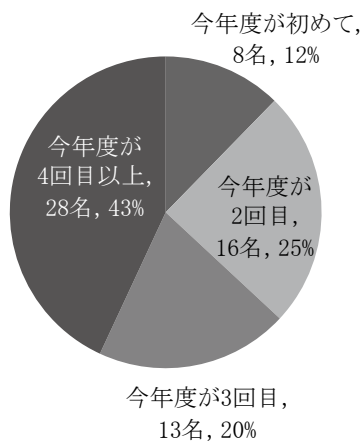
1.2) 年齢別



1.3) 職業別



2. これまでの参加回数



### 3. 媒体(複数回答者あり)

チラシ(北海道新聞折込み)	12名	16.4%
掲示ポスター	2名	2.7%
天使大学からの郵便物(ダイレクトメール)	46名	63.0%
新聞掲載	3名	4.1%
広報誌(道民カレッジ等)	9名	12.3%
ホームページ	0名	0.0%
その他	1名	1.4%
回答なし	0名	0.0%
	73名	

●その他(内訳)

- ・天使大学後援会の仕事をしている友人よりの情報(1名)

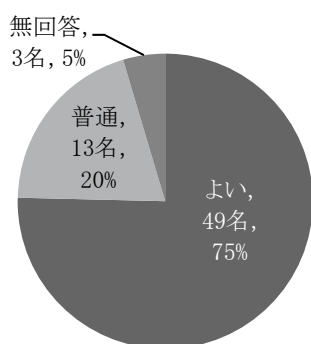
### 4. 動機(複数回答者あり)

テーマに興味があったので	53名	43.4%
講師陣に魅力を感じて	2名	1.6%
大学連携の公開講座だから	16名	13.1%
通いやすい会場だから	22名	18.0%
参加しやすい時間帯のため	25名	20.5%
その他	4名	3.3%
回答なし	0名	0.0%
	122名	

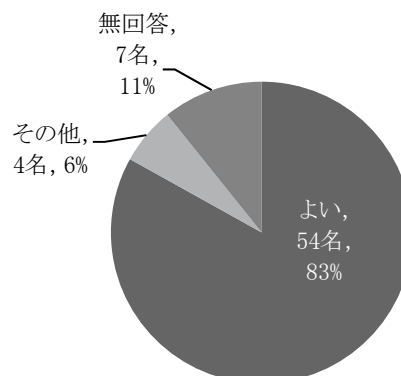
●その他(内訳)

- ・道民カレッジだから(1名)
- ・道民カレッジ連携講座である、また毎回参加している(1名)
- ・日中一人で過ごす事が多い為、外に出て何かを得る事ができるのなら、経済的範囲内において行動することが良いと考えた。(1名)
- ・母が天使短大栄養科卒、私が天使病院で産まれたことが今回の会場と縁があると感じられたので。(1名)

### 5.1) 全体テーマについて

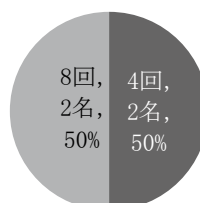


### 5.2) 回数について

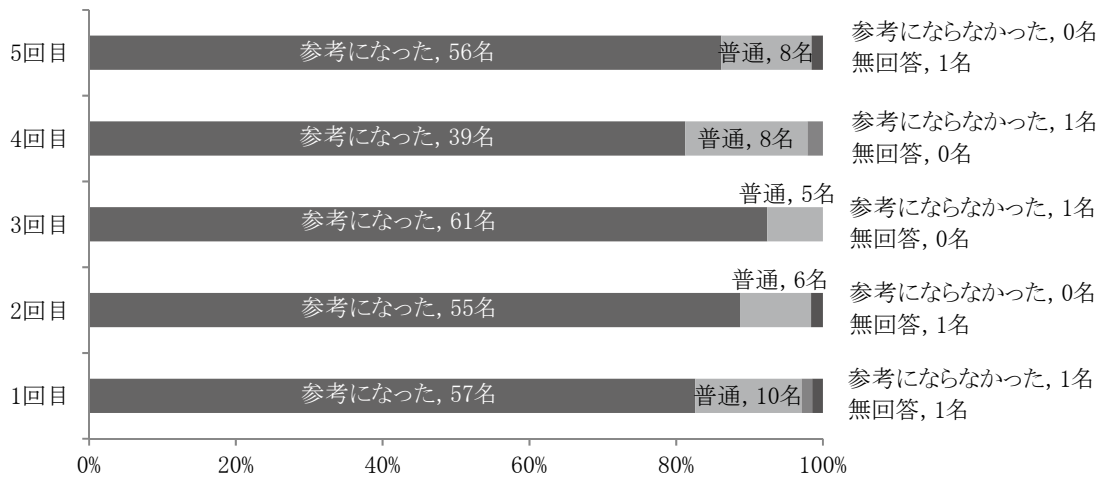
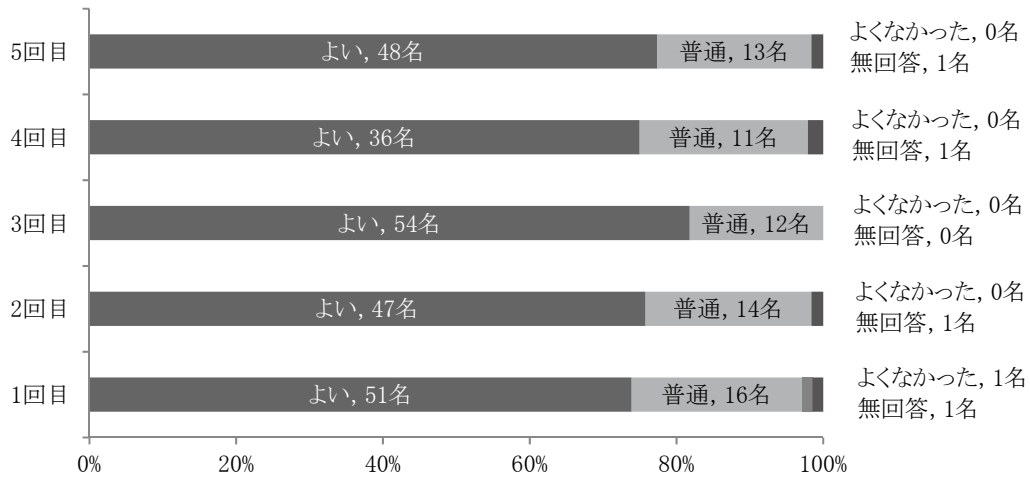


●望ましい回数(内訳)

※5.2で「その他」を選んだ場合



1. 講座の運営について



## VI. 社会貢献

担 当：東日本大震災復興支援プロジェクト

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 被災地や被災地の方々を支援する。</li> <li>2. ボランティア活動参加学生を支援する。</li> <li>3. 復興支援活動を学生の教育に活かし、専門職業人として不可欠な知識や技術の習得に役立てる。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 被災地や被災地の方々を支援する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 募金活動 ボランティア助成金の原資に余裕があり、またプロジェクトの終了が決定したため、募金活動は行わなかった。</li> <li>2) 天使祭への出店 リーフレットでの「活動内容の紹介」と、東北地方の郷土料理「せんべい汁」や産物の販売を行って好評を得、被災地に関心を持ってもらう機会とすることができた。また、防災用品を展示し、災害への備えの重要性を喚起できた。</li> <li>3) シンポジウムの開催 2015年10月22日に「震災から5年目をむかえて～いま私たちにできること～」と題して開催した。前半は宮城県土木部復興まちづくり推進室室長茂泉博史氏と福島県保健福祉部健康増進課小野喜代子氏による被災地の現状報告、後半は仙台教区サポートセンターの濱山麻子氏、看護学科卒業生、栄養学科在学学生を加えた5人によるディスカッションを行った。被災地への関心が薄れる中、有意義な意見交換を行うことができた。</li> <li>4) 復興支援プロジェクト通信の発行</li> </ol> </li> <li>2. ボランティア活動参加学生を支援する。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 復興支援プロジェクト掲示板の更新</li> <li>2) ボランティア助成金 助成金額を20,000円から25,000円にしたこともあり、ボランティア活動参加者数は前年度より17名増加した。</li> </ol> </li> <li>3. 復興支援活動を学生の教育に活かし、専門職業人として不可欠な知識や技術の習得に役立てる。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ボランティア活動報告会の開催 2015年6月2日に体育館で開催した。学生8名（看護学科3名、栄養学科5名）に報告をお願いした。告知に力を入れたこともあり、190名（昨年度は60名）の学生が参加した。被災地の現状等が詳細に報告され、被災地支援を考えるきっかけとなった</li> <li>2) ボランティア講習会 心理カウンセラーの下山寿美子氏、本田江里子氏を講師に迎え、2016年1月15日に「コミュニケーションスキルを学ぼう～心にいたみを抱えた方へのアプローチ法」と題して開催した。将来医療職者として働くときにも活用できる内容で、大変実りの多い講習会となった。</li> </ol> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<p>プロジェクトは本年度で終了するが、助成金については学生が今後もボランティアに参加しやすい環境を維持するため、後援会と同窓会に協力をお願いした。ただ、この5年間のプロジェクトの活動を、ボランティア活動に関連した科目の開講へつなげられなかった点が残念である。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>九州における新たな震災の発生を受けて、看護・保健・助産・栄養分野における災害支援を再考し、プロジェクトの目的・活動の方向性を再度検討することが必要だと考えます。また、大学として災害・復興支援ボランティア活動を支援する体制の検討が望まれる。</p>

Ⅶ. 学生生活

担当：学生委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「びあの会」活動への参加希望者が7名となり、支援される側ではなく支援する側の学生の育成を充実させたい。</li> <li>対象学年に合わせた講演会や啓発活動等の年間計画立案。</li> <li>マレーシア海外研修の実績を踏まえ、今後のあり方と充実についての検討継続。</li> <li>学生の健康調査票の運用についての検討の継続。</li> <li>「学生生活についての調査」の評価の効果的な活用。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>今年度行った「びあの会」の活動の中で「クッキングライブ」、「学生による禁煙セミナー」、「学生を加えての学生食堂意見交換会」は、参加学生からの評価が高く有意義なコンテンツであるため、次年度も継続する。ただし、この3コンテンツに、「びあの会」が担うべき“同質性”は薄いので、それぞれに興味のある学生を公募するかたちでの継続を検討する。</li> <li>アッセンブリー・アワーの時間を利用して、学年進行に合わせた講演会・啓発活動を企画・実施してきたが、参加人数は少なく、「2014年度学生生活についての調査報告書」の評価も良好とはいえない。今後は「講演会・啓発活動への参加率を上げること」、「参加した学生の満足度をあげること」に注力する。その達成のため、以下の改善を行う。             <ol style="list-style-type: none"> <li>①教務委員会・学務課に対し、2017年度時間割を作成する際、アッセンブリー・アワー（火曜3限）の前後の時間帯（火曜2限、4限）に、可能な範囲で「必修科目」を置いてもらうよう依頼する。</li> <li>②プログラム開催時に参加者に対しアンケートを取り、「学生委員会担当プログラムごとの満足度」を測る。</li> <li>③全学生に対し、「学生委員会担当プログラムの関心度調査」を行う（欠席者も含めた意識調査）。その際、「学生委員会担当プログラム」の中で、入学前（高校・中学校）にすでに受けたことがあるプログラムがあるかについても確認する。</li> <li>④学生委員会担当プログラムの事前周知に力を入れる。プログラム告知ポスターを作成する際は「このプログラムを受講するとどのようなことが学べるのか」がわかりやすく伝わるよう努力する。また、学生支援ポータルサイト「T-navi」を介して、直前に学生に対しリマインダー告知を行う。</li> </ol> </li> <li>マレーシア・クアラルンプールでの海外研修は、今年度16名の参加があった。今回の目玉企画である「B&amp;S 国際交流プログラムの実施」だけでなく、ジュリアン大司教（クアラルンプール大司教区）との謁見、セントジョーンズ大聖堂の見学、アシュラム・カハヤ（カトリック孤児院）の見学、「クアラルンプールカトリック日本人コミュニティ」の方との交流、サンウェイメディカルセンターの日本人看護師による講演・ホスピタルツアーなど、学生にとって有益な新規プログラムを多数取り入れ、昨年度の企画をブラッシュアップすることができた。プログラムだけでなく、「マレーシア海外研修における危機対応マニュアル」の作成、参加学生の旅先での様子を保護者にリアルタイムでweb配信するなど、実施・運営体制もブラッシュアップできた。</li> <li>今年度より学生に「健康調査票」を提出させた。それにより一番役立ったのは入学段階で「保健事項に関する相談希望者」を把握し、面談できたことである。また難病を罹患する学生を把握できたことも大きい。今後は「健康調査票」を集計し、統計化することが課題である。</li> <li>「2014年度学生生活についての調査報告書」は、「わかりやすさ」、「学生の不満の抽出」に主眼を置き、①セクションごとに解説文をつける、②（その解説文の中で）学生の満足度の特に低いものを洗い出すなど、まとめ方を工夫した。その「2014年度学生生活についての調査報告書」を受け、各部署に回答書の作成を依頼した。その際、「いつ（対応期限）」、までに「何を（対応策）」するかについて詳細に記載するよう要求し、「学生の視点」に立った回答書が作成できたと評価している。学生委員会としても「運用面」からロッカー室の狭隘化解消に取り組み、2015年12月に「ロッカー室改善に関するアンケート調査」を行って学生のニーズをとらまえ、それを基に改善案を学生に提示した。2016年度から運用する予定である。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「学生生活ガイドブック」、「本学Webサイト 在学生ページ、卒業生ページ」の改善</li> <li>ソーシャルメディア・ガイドラインの作成</li> <li>全学的な「危機管理体制」構築の要望</li> <li>学生の「健康調査票」の実施・管理・集計</li> <li>アッセンブリー・アワー（学生委員会担当プログラム）の改善</li> <li>『「2014年度学生生活についての調査報告書」に対する天使大学としての回答』の履行状況の確認</li> <li>海外研修プログラムのさらなるブラッシュアップと「第2の渡航先」の検討</li> <li>広報委員会と連携した、学生募集活動のサポート</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学生の教育・学習環境の整備のため、学生満足度調査を詳細に分析し環境改善に反映させることは学生・大学の双方にとって重要である。一方、学生の自主的な企画や取組としての海外研修がブラッシュアップされることによって学生の関心度の高まりと大学間連携のきっかけ作りになるよう継続した取組はグローバル化に向け必要です。新たに健康保健活動に取り組むなど委員会の活動内容の充実を期待します。</p>



Ⅶ. 学生生活

担 当： 宗務委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宗教行事関係の企画運営</li> <li>2. 学生へキリスト教精神を理解してもらう。</li> <li>3. 教職員に建学の精神を理解してもらう。</li> <li>4. 教育理念に即した環境の整備</li> <li>5. 教育理念に関する研修会への参加</li> <li>6. カトリックセンターとの連携</li> <li>7. アッセンブリーアワーの調整</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宗教行事関係の企画運営             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 委員長が行事を企画し、委員が協力して実施した（学務課職員が日程掲示）。                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①特別のミサ：イースターの集い、死者のための追悼ミサ、クリスマスの集い 新年のミサ、退職する教職員への感謝ミサ、修了・卒業感謝のミサ</li> <li>②毎週のミサ：前期9回、後期8回</li> <li>③各種の儀式：マリア様の戴冠式、ツリー点灯式、クリスマス聖歌放送、灰の儀式</li> </ol> </li> <li>2) 学生に建学の精神にふれる機会を提供した。</li> </ol> </li> <li>2. 学生へキリスト教精神を理解してもらう。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学生支援教員の協力のもとで行事を実施、あるいは行事の一部を担当した。                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①各学科の修養会：ケン委員が「講話」「祈り」「感謝のミサ」などを担当した。</li> <li>②チャペルアワー：小原部長が実施した。</li> <li>③アッセンブリーアワー：ケン委員が宗教関連の「講話」を担当した。</li> </ol> </li> <li>2) 「カトリック医療関連学生セミナー」に5名の学生が参加した。                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①学務課職員が学内掲示で募集し、説明会を行った。</li> <li>②学務課職員の指導下で学生が講演内容をアッセンブリーアワーで発表した。</li> <li>③参加学生によれば、満足度が高かった。</li> </ol> </li> <li>3) 「2014年度学生生活についての調査報告書」の改善要求に対する回答書を作成した。                 <ol style="list-style-type: none"> <li>①改善策1：2016年4月に4年間に渡る宗務行事の計画書を学生に発表する。</li> <li>②改善策2：2016年4月に宗務行事の1週間前に行事の目的や内容を発表する。</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3. 教職員に建学の精神を理解してもらう             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「教職員修養会」をカトリックセンターが企画し、宗務委員会が実施した。</li> <li>2) アンケートによれば、評価はおおむね良好であった。</li> </ol> </li> <li>4. 教育理念に即した環境の整備             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 屋外クリスマスツリーの装飾：電飾が老朽化したので新たに購入した。</li> <li>2) 生花の装飾：毎週月曜日に菊池委員が聖堂内部に生花を飾った（四旬節を除く）。</li> </ol> </li> <li>5. 教育理念に関する研究会への参加             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) キリスト教学校教育懇談会：宗務委員会の行事が多く、参加する余裕がなかった。</li> <li>2) カトリック看護大学連絡協議会：同上。</li> </ol> </li> <li>6. カトリックセンターとの連携 カトリックセンターとの連携は良好である。</li> <li>7. アッセンブリーアワーの調整 学務課職員が各学科や委員会に確認し、調整を行った。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宗教行事への参加率が低下しているので、参加率を上げるための方策を考える。</li> <li>2. 「カトリック医療関連学生セミナー」を本学で開催するので、主催者に協力する。</li> <li>3. 「2014年度学生生活についての調査報告書」の改善要求に対する回答内容を実行する。</li> <li>4. チャペルアワーの日程調整にあたり、学務課と学生支援教員の協力を積極的に仰ぐ。</li> <li>5. 体育館で行う行事の場合、学務課と事前に相談して設営時間の確保に努める。</li> <li>6. 退職したシスター沢に代わるシスターの補充をカトリックセンターに要望する。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>本学の建学の精神の浸透のためには、カトリックセンターと宗務委員会の緊密な連携とカトリック大学連盟や関連外部団体との企画や行事への学生の参加がより意識を高めるために効果的な方策となることから、今後とも積極的な取組と学生の意識喚起を期待します。</p>

VII. 学生生活

担 当：キャンパス・ハラスメント対策委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<p>キャンパス・ハラスメント対策委員会とハラスメント防止委員会の連携を強め、学生、教職員の認識を高める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生へのキャンパス・ハラスメントに関する正しい知識や認識を深めるため、講演会などを実施する。</li> <li>2. 学生のキャンパス・ハラスメントのための相談窓口や意見箱設置などについての具体的検討と学生への周知を行う。</li> <li>3. 各委員会と連携・協力し、研修会などを計画・実施して、キャンパス・ハラスメントに関する認識を高める活動を行う。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<p>ハラスメント防止委員会との連携を図る必要があるが、学生間と学生教職員間のハラスメントについて規程一本化を求めて規程等検討委員会へ文書を提出したが、受け入れられなかった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. キャンパス・ハラスメントに関する講演会を2回開催した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>①6月23日 13:30～14:30 「キャンパス・ハラスメントを考える」 Sr. 木村晶子氏（藤女子大学 教授）。対象は看護栄養学部新入生、教職員。 学生の参加状況：看護学科74名(80%), 栄養学科63名(73%)。参加者は昨年よりも多かった。どのようなことがハラスメントになるのか理解できたなどの感想も多数あり、学生の興味と理解を得られた。次年度も引き続き講演会を開催し、さらなる理解を深める。</li> <li>②9月29日 13:30～14:30「ハラスメントについて考える」Sr. 木村晶子氏(藤女子大学 教授)。対象は大学院1年生、教職員。 参加状況：助産研究科21名。モラルハラスメントに重点を置いた講演内容で、理解を深めることが出来た。次年度も継続的に開催し、さらなる理解を深める。</li> </ul> </li> <li>2. 看護栄養学部新入生へのガイダンスは、7月14日のアッセンブリーアワー「定期試験について」の後に、ガイドラインの配布を行い、委員長より内容の説明を行った。大学院1年生にはガイドライン配付と説明を、本宿委員より行った。 意見箱設置は、設置場所や管理の問題から、今年度は設置が見送られた。</li> <li>3. 啓発活動のためにポスターを作成し、学内に掲示した。また、8月28日に初めての試みとして啓発DVD上映会を開催した。上映したDVDは3本で各25分程度。参加者は学生1名と教員数名であった。開催日が夏休み中ということもあり参加者は少なかったが、開催時期や開催内容、周知の方法を見直し、学生と教職員双方がハラスメントを学べる貴重な啓発活動として、DVD上映会を継続してゆく必要があると考えている。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新入生へのキャンパス・ハラスメントに関する正しい知識や認識を深めるため、講演会などの全員参加に向けて働きかけを行う。</li> <li>2. 2014年度に行ったハラスメントに関する実態調査に対し、その分析結果を踏まえて学生が相談しやすい環境づくりを行う必要がある。また、2年に1度程度は実態調査を行うことが望まれる。さらに、意見箱の設置を再度検討し、実施する方向で調整する。</li> <li>3. 実態調査では、教職員から学生に対するパワハラ、アカハラの訴えが、学生同士のハラスメントを大きく上回っており、ハラスメント防止委員会とより連携を深め、教職員のハラスメントに対する知識や意識を高めることが重要である。</li> <li>4. 委員の学外研修会参加など、学生からの相談や学内で発生しているハラスメントに、よりの確に対応するスキルを学ぶ機会が必要である。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>キャンパス・ハラスメントに関する講演会等開催し理解を深める対策を講じていることは評価します。さらに学生、教職員ともにハラスメントについて理解を深め、ハラスメントのない学習環境作りに向けて関連委員会等の連携など、全学的な体制が検討されることを期待します。</p>

VIII. 就職支援

担当： 就職委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職率 100%達成のための支援活動を行う。</li> <li>2. 就職活動への動機付け強化を行う。</li> <li>3. 早期離職防止のための支援を行う。</li> <li>4. 栄養教諭及び公務員への就職の支援を行う。</li> <li>5. 私大協への協力と情報交換を行う。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職率 100%達成のための支援活動             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 就職率 100%達成のために学年学科別に様々な就職ガイダンスを実施した。</li> <li>2) 就職相談室の就職相談を予約制(30分)にし、面接演習、履歴書添削、小論文添削等、就職活動最終段階までの支援を行い内定につながることができた。就職相談予約を希望する学生が増加しているため、就職相談員を増員し就職支援を行う必要がある。</li> <li>3) 就職内定率は卒業式時点で看護学科 100%、栄養学科 88.4%であった。 (前年度看護学科 100%、栄養学科 89.4%(卒業式時点))</li> <li>4) 新卒学生や既卒学生についても就職支援を行い、特に新卒学生については、卒業後 1 年間、就職が決定するまで Eメール等で情報提供を行った。</li> </ol> </li> <li>2. 就職活動への動機付け強化             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 両学科ともに 1 年次から、特に 3 年次後期より、就職ガイダンスに力を入れ、ガイダンス時に就職相談室の案内等を行い、就職相談室に来室するよう周知を行った。</li> <li>2) 「SPI 対策講座(Web 版)」「スーツ着こなし講座」等、新たに就職ガイダンスを企画し実施した。</li> <li>3) 面接演習については、就職相談室を中心に外部関係者の協力も得て、就職試験が多い時期に合わせ実施した。その結果、就職内定につながった学生が多く見られた。また、1、2 月は週 1 回、1 時間(2 名完全予約制)で札幌新卒応援ハローワークの相談員が担当し模擬面接演習を行った。</li> <li>4) 一般企業(栄養職)を希望する栄養学科 3・4 年次生対象に学内企業説明会を 10 回(企業 18 社)開催した。</li> <li>5) 2016 年 1 月より、就職ガイダンス時にスーツ着用を義務付けた結果、就職ガイダンスを受ける姿勢、就職活動に対する意識が高まってきたように見受けられる。</li> </ol> </li> <li>3. 早期離職防止のための支援             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2014 年度卒業生看護学科 96 名・栄養学科 92 名、修了生助産研究科 28 名、看護栄養学研究科 7 名、計 223 名を対象に離職調査を実施した。</li> <li>2) 調査期間は、2015 年 12 月～2016 年 1 月末であった。</li> <li>3) 全体回答率は 44.4%であった。「現在、働いていますか？」の質問に対し「はい」と答えた全員が卒業・修了時と同じ職場で働いていることがわかった。今後更に調査の結果を分析する。</li> </ol> </li> <li>4. 栄養教諭及び公務員への就職の支援             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教職課程委員会と連携し支援を行った。北海道教育委員会選考検査「栄養教諭」の登録者は、3 名であった。</li> <li>2) 札幌市「栄養士」の合格者は、4 名であった。</li> <li>3) 札幌市以外の市町村の合格者は、4 名であった。</li> </ol> </li> <li>5. 私大協への協力と情報交換 他大学や日本私立大学協会、全国私立大学就職指導研究会等の主催する研修会で情報収集を行い、ガイダンス等で就職活動に関する最新情報の提供を行った。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就職相談室は、個別ブースがなく、プライバシーの確保が難しい状況であり、設置場所変更の要望をしたが、実現しないため、次年度も要望する。充実した就職支援ができるよう大学全体の問題として検討する必要がある。また、就職相談を希望する学生が増加していることから就職相談員の増員を要望し、年度内 100%就職率を目指し支援する。</li> <li>2. 学科学年・対象別に時期にあった就職ガイダンスを企画し、就職活動に対する意識を高める。また、ガイダンス回数ではなく、ガイダンスの内容を重視する。</li> <li>3. 離職調査結果の分析を行い、今後の就職支援に役立てる。</li> <li>4. 栄養士以外の公務員を目指す学生が増えてきていることから、2 年次より公務員に関するガイダンスを行い最新情報の提供を行う。</li> <li>5. 就職活動時期の変更による他大学、企業等の動き把握し、学生が安心して就職活動できるよう支援を行う。</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>エンロールマネジメントの重要な役割を担う就職支援活動には時代の要請に応じた様々な手段方策を講じる必要があり、各種除法の収集と学生への適切な周知・活用のため、きめ細かい対応がされており、今後も改善の努力を続けられるよう期待します。</p>

## IX. 図書館

担 当：図書情報委員会

本年度の活動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機関リポジトリの運用：収録コンテンツの整備計画策定と実施</li> <li>2. アクティブ・ラーニングを支援する文献検索ガイダンスの実施</li> <li>3. 図書館ホームページの維持管理と Facebook 機能の活用</li> <li>4. 洋雑誌の利用頻度調査結果に基づく見直しと電子ジャーナルへの切り替え</li> <li>5. 登録図書の計画的除籍及び廃棄(譲渡)と移管研究費図書の再活用の実施</li> <li>6. 将来構想等への新館建築素案の提示(情報処理室を含む)</li> <li>7. 防災対策と必要備品等の準備(情報処理室を含む)</li> <li>8. 北海道地区私立大学図書館協議会幹事館としての活動(業務研究会開催など)</li> </ol>
活動内容の評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 機関リポジトリに関連する教員業績システムについて、導入が決まった。本課と総務課担当者で連携を図り、個々には達成できない研究情報の収集・保存蓄積・活用を図れるよう、今後検討していく。次年度は、整備計画案の策定を行う。</li> <li>2. 学生、大学院生の要望に応じて、文献検索ガイダンスを実施した。また、担当教員と連携して、以前図書館で行っていた看護3年向けの文献検索ガイダンスを復活した。</li> <li>3. 図書館ホームページや Facebook の活用が浸透してきたので、今後は SNS の運用規程やガイドライン策定に向けて、検討を進めることが必要と思われる。</li> <li>4. 利用頻度を踏まえ、各学科・科・研究科から購読打ち切りや新規購入が提案され、利用に見合う雑誌の購読が進められている。</li> <li>5. 除籍・廃棄規程に基づき、過年度の退職教員分を優先し、順次除籍作業を進めている。</li> <li>6. 法人と教学が一体で策定し理事会に上げた図書館、情報処理室などの新棟建設計画を含む将来構想について、早期実現が望まれる。</li> <li>7. 全学的な防災に関する規程整備や初めての避難訓練が実施された。今後は防災計画の継続的策定が必要と思われる。</li> <li>8. 北海道地区私立大学図書館協議会幹事館として、第2回業務研究会を本学で開催した。京都大学図書室の西川真樹子氏を招いて、図書館における SNS の活用についての情報提供を行った。通常の倍近い40名の参加を得ることができた。次年度も引き続き、大学図書館に相応しいテーマで業務研究会を企画し、各館の連携を図れるよう努力したい。</li> </ol>
次年度への課題	<p>今年度の目標8項目は、すべて次年度の継続活動目標とする。大学に相応しい図書館建設を求める要望が強くなっているため、再度上申していきたい。またメディカルオンライン導入の要望にも応えられるよう、新提案を準備する。</p>
自己点検 評価委員会 からの評価	<p>活動目標に基づき、適切に実施されています。昨年度の評価を活かし、アクティブ・ラーニングを支援する文献検索ガイダンスの実施等、電子ジャーナルの切り替え等図書館サービスの充実の努力がなされています。今後、メディカルオンラインの導入を期待します。学生や教職員が、安全で利用しやすい図書館の環境整備に向けて、防災対策や新棟建設の早期実現が望まれる。</p>

X. 情報処理システム

担 当： 図書情報委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理</li> <li>2. 情報処理室授業支援システム、学内 LAN 掲示板の利用促進</li> <li>3. 遠隔地実習や講習会実施を支援するための Live On システムの活用</li> <li>4. 情報セキュリティに関する情報収集と対策(規程整備など)</li> <li>5. 事務局内のシステム導入に対応するため、サーバ等の整備を並行して実施</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコン等の整備・維持管理については、総務課併任の専任職員の協力を得ながら、専任職員及び嘱託職員各 1 名による体制が維持され、円滑に行われた。</li> <li>2. 情報処理室授業支援システム及び学内 LAN 掲示板については、フル活用されており、学生の自習時間確保が難しい状況となっている。大学教育における ICT 活用は必須の事項であり、早急な施設建設等の整備が必要である。          なお、2015 年度末の事務システム導入に伴い、サイボウズに代わる学内 LAN 掲示板の活用が可能となり、次年度構築を目指している。</li> <li>3. 遠隔地実習や講習会実施を支援するための Live On システムの活用については、助産研究科の教授会や遠隔地の委員を加えた会議など、付随的な課題にも活用された。講義では Live On を使って、演習の状況を情報処理室に中継し、それを見た学生が演習内容を評価する授業(カウンセリング演習)などが行われた。</li> <li>4. 公益財団法人私立大学情報教育協会主催の『大学情報セキュリティ研究講習会』に、専任職員 2 名が参加し、規程整備や体制見直しのための情報収集を行った。</li> <li>5. UNIVERSAL PASSPORT やキャンパス・プラン導入に伴うサーバ増設及び構築、導入支援、データ登録支援、資料作成(UNIPA 紹介資料)、出欠管理システム導入に伴う無線 LAN 整備、ユーザ管理などについて、各課と連携し対応した。</li> </ol> <p>2016 年度にむけては、構築途中の出欠管理システムなどについて、連携協力しながら、導入システムの円滑な運用に尽力する。</p> <p>システム体制が整ったところで、セキュリティ等の規程整備を次の課題とする。</p>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サーバシステム、学内 LAN、無線 LAN 環境、図書館貸出パソコンの整備・維持管理</li> <li>2. 情報処理室授業支援システム、学内 LAN 掲示板の更新と利用促進</li> <li>3. 遠隔地実習や講義、講習会等の実施を支援する Live On システムの活用</li> <li>4. 情報セキュリティに関する情報収集と対策(規程整備など)</li> <li>5. 事務局内のシステム導入に伴うサーバ、無線 LAN 等の整備・維持管理</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>無線 LAN 環境、図書館貸出パソコン等利用者の利便性向上の取り組みが実施されている。          アクティブ・ラーニングを支援するためにも、情報処理室を利用しての自習時間の確保は、重要な課題であり、施設整備など大学としての検討が望まれる。</p> <p>Live On システムの多様な活用、既存システムと導入システムの円滑な運用体制の整備、情報セキュリティに関する体制の強化を期待します。</p>

XI. 施設・設備

担 当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 中長期計画に伴う新校舎建築計画の立案</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 第2号基本金組入れ計画          第2号基本金は、新校舎建設のため、2009年度から基金造成を行っており、本年度新たに3年間の延長を行うこととし、着実な基金造成に努めている。</p> <p>2. 新校舎建設計画の検討状況          本学園全体のマスタープランの作成と新校舎建設のために顧問建築士とともに検討を続け、構想案を練っているところである。          しかしながら、東日本大震災復興支援事業や東京オリンピックによる建設費の上昇により当初の見込みでは建設が困難であり、施設計画案全体の見直しを行っている。          本学の施設は老朽化が進んでおり、新校舎建築計画を含めた現校舎の改修計画の検討を進める必要がある。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 中・長期計画に伴う新校舎建築計画の立案</p>
<p>自己点検          評価委員会          からの評価</p>	<p>2012年度の課題において「新校舎建築計画の立案」が挙げられて以来、未だ、進捗が明確ではありません。同じ活動目標を数年に渡り掲げながら、明確な進捗がみられない状況は改善の必要があると思われます。現在の施設・設備の課題を広く共有し、計画的に改善に取り組む必要があると思います。</p>

## XII. 管理運営

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<p>1. 教学組織（大学）と法人組織（理事会等）の権限と責任の明確化</p>
<p>活動内容の評価</p>	<p>1. 教学組織（大学）と法人組織（理事会等）の権限と責任の明確化</p> <p>学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律及び学校教育法施行規則及び国立大学法人法等の一部を改正する省令が平成27年4月に施行されたことに伴い、文部科学省からは改正法の趣旨を踏まえた内部規則の総点検や見直しが求められ、本学として内部規程全般の見直しを行った。</p> <p>学内規程の見直し作業を進める中で、学校教育法等の改正の趣旨が反映され、教学組織（大学）と法人組織（理事会等）の権限と責任の明確化が進められている。</p>
<p>次年度への課題</p>	<p>1. 学長のリーダーシップが発揮できる支援体制を整える。</p>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>教学組織から出されている課題と法人側から出されている課題等を更に明確にし、管理運営体制の適切性及び次年度への課題を明確にして継続して検討することを期待します。</p>

XIII. 財務

担 当：財務室

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人会計基準の改正に伴う円滑な移行</li> <li>2. 科学研究費補助金等の公的研究費の不正使用の防止及び研究活動における不正行為の対応に関する規程の整備</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校法人会計基準の改正に伴う円滑な移行 <p>学校法人会計基準が学校法人会計基準の一部を改正する省令（平成 25 年 4 月 22 日文科科学省令第 15 号）が平成 27 年 4 月 1 日に施行され、平成 27 年度以降の計算書類に適用されることになり、円滑に移行するための準備を 2014 年度から行い、煩雑ではあるが新旧両会計基準を精査しながら、円滑な移行が図れた。</p> <p>新会計基準に則り、財務状況の情報公開がより分かりやすくなるものとなるよう決算及び新年度予算に反映していきたい。</p> </li> <li>2. 科学研究費補助金等の公的研究費の不正使用の防止及び研究活動における不正行為の対応に関する規程の整備 <p>本学の研究活動に関して文科科学省通知に則り、科学研究費補助金等の公的研究費の不正使用の防止及び研究活動における不正行為の対応に関する規程の整備を行い、教職員に対する周知を行い、内部監査のあり方について検討してきたところである。</p> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中・長期的な財政計画の立案</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>学校法人会計基準の改正に伴う円滑な移行が図れたことについて評価します。引き続き、財務状況の情報公開がより分かりやすくなるものとなるよう決算及び新年度予算に反映されることを期待します。</p> <p>科学研究費補助金等の公的研究費の不正使用の防止及び研究活動における不正行為の対応に関する規程の整備を徹底させるようお願いします。</p> <p>研究補助金、外部資金等の獲得のための体制を整備し、積極的に取り組む必要があると考えます。</p>



XIV. 事務組織

担 当：事務局長

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学基準協会の点検・評価項目「事務機能の改善・業務内容の多様化への対応策」についての取り組みを行う。</li> <li>2. 大学基準協会の点検・評価項目「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」についての取り組みを行う。</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<p>前年度において、大学基準協会の点検・評価項目を参照し評価を行なうことの見解があり、本年度は次の2点について取り組みを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「事務機能の改善・業務内容の多様化への対応策」についての取り組み <p>事務量が増加し、内容が高度化していることから学園全体のIT化を進める必要があり、2015年度においてGAKUENシステムの契約更新期にあることから、GAKUENシステム会計システムの更新及び導入に関する検討を学務課を中心に全課がこれに加わって、検討を行い、2016年度に稼働を目指し、作業が進められている。</p> <p>この導入により事務処理の単純なルーチンワークからの解消と、事務の高度化が図られるものと見込んでいる。</p> <p>この完全な稼働については、少なくとも数年を要するものとみられ、その導入に引き続き、運用面での慎重な対応が必要となっている。</p> </li> <li>2 「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」についての取り組み <p>本学における規則、規程、申し合わせ事項など規程類は100件以上あり、今回、「学校教育法及び国立大学法人法の一部を改正する法律」及び「学校教育法施行規則及び国立大学方針法施行規則の一部を改正する省令」が成立されたことにより、文部科学省からの通知において内部規則等の総点検・見直しを実施したところであり、理事会、教育研究評議会、教授会、研究科委員会、各委員会等において改正作業が精力的に進められた。</p> </li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 点検・評価項目「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」についての取り組み「事務機能の改善・業務内容の多様化への対応策」に係るシステムの円滑な運用と、新たなシステムの導入</li> <li>2. 点検・評価項目「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」についての取り組みに係る規程類の引き続き改正</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>次年度より稼働されるシステムが事務機能の改善を即し、より充実したものとなるように、更なる検討と取り組みを期待します。</p> <p>「関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程の整備と適切な運用」についての取り組みに関する規程類の改定が、学生及び教職員にとってより良いものとなるように期待します。</p> <p>学生に対する支援、教育研究活動の支援、大学運営に必要な事務等を行うための組織として十分機能しているか、と言う点についても点検評価が必要と考えます。</p>

XV. 自己点検・評価活動

担当： 自己点検評価委員会

<p>本年度の活動目標</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年報の発行</li> <li>2. 活動報告会による課題及び次年度への改善点の明確化</li> <li>3. 大学基準協会への改善勧告。努力課題に対する回答</li> <li>4. 日本助産評価機構より付された課題の検討</li> <li>5. 研究業績様式の見直し</li> </ol>
<p>活動内容の評価</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護栄養学部・看護栄養学研究科及び助産研究科の年報は前年度より早く、予定通り6月末に発刊した。</li> <li>2. 活動報告会は2016年3月18日に開催。学内の課題の共有、連携を目指すための報告会は今年度で4年を経過し定例化されつつある。しかし、課題の共有を図り全学的PDCAサイクルによる自己点検評価活動は、下記6に示した状況で未だ十分に活動に至っていないのが現状である。</li> <li>3. 大学基準協会への改善報告書は7月末に提出し、受理された。</li> <li>4. 助産研究科の認証評価の課題については、助産研究科より回答された。</li> <li>5. 研究業績様式の見直しについて、前年度予算計上が見送られていた教員業績システムの提案が今年度導入されることとなった。システム導入に伴い、今後研究業績の公開がよりスムーズになることが期待される。</li> <li>6. 自己点検評価活動としてのシステムづくりと今後について、2015年3月に教育研究評議会に提案した課題について検討した。内容は自己点検評価を推進する部署・責任の所在が明確になっていないこと、全学的なPDCAサイクルによる改善・改革が十分に進んでいないこと、点検評価内容を十分に活用し改善するシステムが構築されていないことである。学長・教育研究評議会からは回答がない状況であり、今後も引き続き教育研究評議会での検討を期待し、全学的評価活動の展開を目指す。自己点検評価委員会の位置づけも明確にされることを期待する。</li> </ol>
<p>次年度への課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内部質保証の充実を目指した大学の自己点検活動の展開</li> <li>2. 自己点検評価の構築</li> <li>3. 年報の作成および報告会の実施（PDCAサイクルとなるものを目指す）</li> </ol>
<p>自己点検 評価委員会 からの評価</p>	<p>自己点検・評価結果を教育研究評議会へ報告して課題の共有を目指すと共に、さらに課題解決のためのPDCAサイクルにおける「Act」に係る本学のシステムを、教育研究評議会を中心に構築していきたいと考えています。（学長）</p>



自己点検・評価資料

## 目 次

I. 学事歴 .....	31
II. 2015年度開講科目一覧 .....	35
1. 教養教育科 .....	35
2. 看護学科 .....	36
3. 栄養学科 .....	38
4. 教職課程 .....	40
5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士前期課程） .....	41
6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻（博士後期課程） .....	41
7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻（修士課程） .....	42
III. 学生数・奨学金の採用状況 .....	43
IV. 国家試験合格率 .....	45
V. 就職・進学状況 .....	46
VI. 2016年度入学試験結果 .....	48
VII. 教員組織 .....	49
VIII. 事務組織 .....	50
IX. 研究等の活動 .....	51
X. 組織図 .....	54
XI. 会議の開催状況 .....	55
XII. 委員会構成一覧 .....	63
XIII. 委員会の活動報告 .....	65
XIV. 図書館の利用状況 .....	83
XV. 情報処理室の利用状況 .....	84
XVI. 施設・設備の状況 .....	85
XVII. 財務状況 .....	87

I. 学事暦 (看護栄養学部)

【前期】

日	月	火	水	木	金	土	行事予定等	臨地実習																								
								看護学科	栄養学科																							
4月	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
			1	2	3	4	2日(木) 13:00~ 3日(金) 3日(金) 6日(月) 6日(月)~7日(火) 6日(月)~10日(金) 8日(水)~14日(火) 23日(木)午前	入学式 新入生オリエンテーション 2~4年次ガイダンス・定期健康診断 前期始講 新入生(1年次)宿泊研修「出会いと親睦のゼミ」 履修登録期間(2~4、栄編3・4年次) 同上(1年次) イースターの集い・学生総会																								
5月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
						1	2	14日(木)午後	合唱コンクール	看4	栄4・編4																					
6月	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30								
		1	2	3	4	5	6	11日(木)午後 12日(金)~13日(土)	天使祭準備 天使祭																							
								27日(土)	開講日																							
7月	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31					
			1	2	3	4	4日(土)	開講日	開講日																							
								11日(土)	開講日																							
								17日(金)~24日(金)	主たる受講年次が看2・3年次科目定期試験																							
								25日(土)	開講日																							
								27日(月)~31日(金)	主たる受講年次が看1、栄1~3年次科目定期試験																							
8月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
						1	4日(火)~6日(木)	主たる受講年次が看2・3、栄4年次科目追・再試験																								
								24日(月)~26日(水) 24日(月)~25日(火)	主たる受講年次が看1、栄1~3年次科目追・再試験 主たる受講年次が看4年次科目追・再試験	看2	栄4・編4																					
								31日(月)	主たる受講年次が栄3年次科目後学期内授業始講	看4	看3																					
授業期間	主たる受講年次が看2・3年次科目 主たる受講年次が看4年次科目 主たる受講年次が栄2~4年次科目 主たる受講年次が1年次科目						4月6日(月)~7月16日(木) 4月6日(月)~5月8日(金) 4月6日(月)~7月25日(土) 4月8日(水)~7月25日(土)																									
臨地実習	看2年次 看3年次 看4年次 栄4・編4年次	基礎看護学臨地実習Ⅱ 成人看護学臨地実習Ⅰ 老年看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅰ 成人看護学臨地実習Ⅱ 母子看護学臨地実習Ⅱ 精神看護学臨地実習 在宅看護学臨地実習 給食経営管理理論実習Ⅲ 給食経営管理理論実習Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅴ 公衆栄養学実習Ⅱ 栄養教育実習	8月24日(月)~9月4日(金) 8月31日(月)~10月30日(金) 5月11日(月)~7月31日(金) 5月11日(月)~7月31日(金)、8月31日(月)~9月11日(金) 5月11日(月)~7月31日(金) 5月25日(月)~29日(金) 8月17日(月)~9月18日(金)のうち5日間 8月17日(月)~9月18日(金)のうち15日間 5月18日(月)~6月12日(金)、8月17日(月)~9月18日(金)のうち5日間 6月1日(月)~6月5日(金) ※ただし、9月に臨地実習を行う科目における栄編4年次の実習期間は9月11日(金)まで																													
夏期休暇	看1年次 看2年次 看3年次 看4年次 栄1・2年次 栄3・編3年次 栄4・編4年次	8月1日(土)~9月13日(日) 7月25日(土)~8月23日(日) 7月25日(土)~8月30日(日) 8月1日(土)~8月30日(日) 8月1日(土)~9月13日(日) 8月1日(土)~8月30日(日) 7月26日(日)~8月16日(日)																														

【後期】

		行事予定等							臨地実習	
									看護学科	栄養学科
9月	31	1	2	3	4	5	8月31日(月) 8月31日(月)～4日(金)	主たる受講年次が栄3年次科目後期学内授業始講(再掲) 栄3年次後期履修登録変更期間	↑ ↓	↑ ↓
	6	7	8	9	10	11	14日(月) 14日(月)～18日(金)	主たる受講年次が看1、栄1・2年次科目後期学内授業始講 看1、栄1・2年次後期履修登録変更期間		
	13	14	15	16	17	18	24日(木)	主たる受講年次が看2、栄4年次科目後期学内授業始講		
	20	21	22	23	24	25	24日(木)～30日(水) 24日(木)～30日(水)	看2、栄4年次後期履修登録変更期間 2年次教養科目履修登録変更期間		
	27	28	29	30			28日(月) 28日(月)～10月2日(金) 30日(水)	主たる受講年次が看4年次後期学内授業始講 看4年次後期履修登録変更期間 前期卒業証書・学位記授与式		
10月	4	5	6	7	8	9	13日(火)～14日(水) 16日(金)午後	栄2年次修養会 栄2ステップ・アップ・セレモニー	↑ ↓	↑ ↓
	11	12	13	14	15	16	25日(水)午後 28日(土)	看2戴帽式 開講日		
	18	19	20	21	22	23				
	25	26	27	28	29	30				
	31									
11月	1	2	3	4	5	6	2日(月) 2日(月)～6日(金)	主たる受講年次が看3年次後期学内授業始講 看3年次後期履修登録変更期間	↑ ↓	↑ ↓
	8	9	10	11	12	13	11日(水)～12日(木)	看2年次修養会		
	15	16	17	18	19	20				
	22	23	24	25	26	27	25日(水)午後 28日(土)	看2戴帽式 開講日		
	29	30								
12月	1	2	3	4	5		1日(火)～2日(水) 3日(木) 8日(火) 10日(木)～11日(金) 12日(土) 16日(水)午前 17日(木)18日(金) 19日(土) 22日(火) 25日(金)	栄3年次修養会 体育祭 創立記念日 看3年次修養会 開講日 学生クリスマスの集い・学生総会 栄4年次修養会 開講日 冬期休暇開始 キリスト降誕祭	↑ ↓	↑ ↓
	6	7	8	9	10	11				
	13	14	15	16	17	18				
	20	21	22	23	24	25				
	27	28	29	30	31					
	1	2	3	4	5	6	3日(水)・4日(木)・8日(月) 23日(火)～25日(木)	主たる受講年次が看4年次科目追・再試験 主たる受講年次が1～3年次科目追・再試験		
	7	8	9	10	11	12				
1月	3	4	5	6	7	8	9日(土) 28日(木)～2月3日(水)	冬期休暇明け始講・開講日 主たる受講年次が1～3年次科目定期試験	↑ ↓	↑ ↓
	10	11	12	13	14	15				
	17	18	19	20	21	22				
	24	25	26	27	28	29				
	31									
2月	1	2	3	4	5	6	11日(金) 14日(月) 15日(火)10:00～	看4年次修養会 修了・卒業感謝のミサ 卒業証書・学位記授与式	↑ ↓	↑ ↓
	7	8	9	10	11	12				
	13	14	15	16	17	18				
	20	21	22	23	24	25				
	27	28	29	30	31					
3月	6	7	8	9	10	11	8月31日(月)～1月27日(水) 9月14日(月)～1月27日(水) 9月24日(木)～1月27日(水) 9月24日(木)～1月25日(月) 9月28日(月)～1月25日(月) 11月2日(月)～1月27日(水)	授業期間 主たる受講年次が栄3年次科目 主たる受講年次が看1、栄1・2年次科目 主たる受講年次が看2年次科目 主たる受講年次が栄4年次科目 主たる受講年次が看4年次科目 主たる受講年次が看3年次科目	↑ ↓	↑ ↓
	13	14	15	16	17	18	10月8日(木)・9日(金)・15日(木)・16日(金)(いずれも午前) 10月27日(火)・28日(水)・11月4日(水)・5日(木)(いずれも終日) 8月24日(月)～9月4日(金) 11月6日(金)～1月22日(金)の毎週金曜日(クラス別隔週実施)	臨地実習 看1年次 基礎看護学臨地実習Ⅰ 看2年次 基礎看護学臨地実習Ⅱ(再掲) 看3年次 老年看護学臨地実習Ⅰ 看4年次 成人看護学臨地実習Ⅰ 栄3年次 老年看護学臨地実習Ⅱ 栄3年次 母子看護学臨地実習Ⅰ 栄3年次 精神看護学臨地実習(再掲) 栄3年次 統合看護学臨地実習 栄3年次 給食経営管理論実習Ⅱ 栄編3年次 臨床栄養学実習Ⅲ 栄4・編4年次 栄養学科臨地実習 栄4・編4年次 給食経営管理論実習Ⅳ(再掲) 栄4・編4年次 臨床栄養学実習Ⅴ(再掲) 栄4・編4年次 公衆栄養学実習Ⅱ(再掲)		
	20	21	22	23	24	25	8月31日(月)～10月30日(金)			
	27	28	29	30	31		8月31日(月)～9月11日(金) 11月2日(月)～11月13日(金) 10月5日(月)～10月9日(金) 11月2日(月)～20日(金)のうち10日間 2月26日(金)～3月10日(木) 8月17日(月)～9月18日(金)のうち5日間 8月17日(月)～9月18日(金)のうち15日間 8月17日(月)～9月18日(金)のうち5日間 ※ただし、9月に臨地実習を行う科目における栄編4年次の実習期間は9月11日(金)まで			
							12月22日(火)～1月8日(金)	冬期休暇		

I. 学事暦 (看護栄養学研究科)

【前期】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等
4月				1	2	3	4	2日(木) :13:00 3日(金) 6日(月) 6日(月)~11日(土)  入学式・専攻別オリエンテーション ガイダンス・定期健康診断 前期授業開始 履修登録期間  23日(木)午前 24日(金)午前  始業ミサ、イースターの集い 研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30			
5月						1	2	
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
	31							
6月		1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					
7月				1	2	3	4	2日(木)  14日(火)~17日(金)  31日(金)  中間発表会(栄養管理学専攻2年次以降)  修士論文・博士論文の提出(2年次以降)  学位論文発表会(博士前期課程・博士後期課程2年次以降) 論文審査会(修士論文・博士論文)
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
8月							1	
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	24日(月)13:00まで  修正済み論文提出
	30	31						
9月		31	1	2	3	4	5	7日(月) 19日(土) 25日(金)17:00まで 30日(水)  後期授業開始 大学院前期入学試験 研究計画書提出(看護学専攻2年次以降) 前期修了証書・学位記授与式
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30				



【後期】

10	日	月	火	水	木	金	土	行事予定等					
10 月	4	5	6	7	8	9	10						
	11	12	13	14	15	16	17						
	18	19	20	21	22	23	24						
	25	26	27	28	29	30	31						
								28日(水)	研究計画発表会(看護学専攻2年次以降)				
11 月	1	2	3	4	5	6	7						
	8	9	10	11	12	13	14						
	15	16	17	18	19	20	21						
	22	23	24	25	26	27	28						
	29	30											
12 月			1	2	3	4	5	8日(火)	創立記念日				
	6	7	8	9	10	11	12			16日(水)午前	クリスマスの集い		
	13	14	15	16	17	18	19						
	20	21	22	23	24	25	26					25日(金)	キリスト降誕祭
	27	28	29	30	31								
1 月						1	2	13日(水)~20日(水)	修士論文、博士論文の提出(2年次以降)				
	3	4	5	6	7	8	9						
	10	11	12	13	14	15	16			23日(土)	大学院後期入学試験		
	17	18	19	20	21	22	23						
	24	25	26	27	28	29	30						
	31												
2 月		1	2	3	4	5	6	4日(木)	学位論文発表会(博士前期課程・博士後期課程2年次以降) 論文審査会(修士論文・博士論文)				
	7	8	9	10	11	12	13	13日(土)	後期授業終了(栄養管理学専攻)				
	14	15	16	17	18	19	20	18日(木)17:00まで	修正済み論文提出				
	21	22	23	24	25	26	27	25日(木)	後期授業終了(看護学専攻)				
	28	29											
3 月			1	2	3	4	5	14日(月)	修了感謝のミサ				
	6	7	8	9	10	11	12						
	13	14	15	16	17	18	19			15日(火)10:00	修了証書・学位記授与式		
	20	21	22	23	24	25	26			29日(火)17:00まで	研究計画書提出(看護学専攻1年次)		
	27	28	29	30	31								

## Ⅱ. 2015年度開講科目一覧

### 1. 教養教育科目

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
①共通基礎科目	基礎学修演習	1	前	1			1	
	教養演習	1	後		1		1	
	科学的思考演習	2	前	1			1	
②人間と宗教	キリスト教学概論	1	前	2		2		
	人間学	1	前	2		2		
	聖書の講読	2	前		▲2	2		
	宗教学	2	前		▲2	2		
	キリスト教学特論	1	後		▲2	2		
③人間と文化	発達と学習の心理学	1	後		2	2		
	カウンセリング概論	1	後		2	2		
	倫理学	1	後		2	2		
	音楽概論	1	後		2	2		
	美術概論	1	後		2	2		
	民族と異文化理解	1	後		2	2		
	法学（日本国憲法）	1	前		2	2		
④人間と社会	社会学	1	前		2	2		
	現代の経済	1	前		2	2		
	近現代の日本	1	後		2	2		
	生活と福祉	1	後		2	2		
	現代社会と生活	1	後		2	2		
	対人関係の心理学	1	前		2	2		
	⑤人間と自然科学	化学	1	前	2		2	
生物学		1	前		2	2		
統計処理演習Ⅰ		1	前		1		1	
統計処理演習Ⅱ		1	後	1			1	
⑥人間と外国語	英語ⅠA	1	前	1			1	
	英語ⅠB	1	後	1			1	
	英語ⅡA	2	前		1		1	
	英語ⅡB	2	後		1		1	
	オーラルイングリッシュⅠA	1	前	1			1	
	オーラルイングリッシュⅠB	1	後	1			1	
	オーラルイングリッシュⅡA	2	前		1		1	
	オーラルイングリッシュⅡB	2	後		1		1	
	フランス語	2	前		1		1	
⑦健康とスポーツ	健康とスポーツⅠ	1	前後		1			1
	健康とスポーツⅡ	2	前後		1			1

2. 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	栄養代謝学	1	前	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	前	2		2		
	病態治療学 I	1	前	2		2		
	病態治療学 II	1	後	2		2		
	看護薬理学	1	後	2		2		
	病態・治療学 III-1	2	前	2		1	1	
	病態・治療学 III-2	2	後	1			1	
	環境健康論	1	後	2		2		
	社会福祉論	1	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	2	前	2		2		
	生涯発達論	1	前	1		1		
	医療と倫理	2	前	1		1		
	人間関係論	2	前	1			1	
医療人類学	4	後		1	1			
専門科目	看護学原理	1	前	2		2		
	ヘルスアセスメント	2	前	1			1	
	看護ケア提供システム論	1	後	1		1		
	基礎看護技術論 I	1	前	1		1		
	基礎看護技術論 II	1	後	2			2	
	基礎看護技術論 III	2	前	1			1	
	基礎看護技術論 IV	2	前	2		1	1	
	成人看護学 I	2	前	1			1	
	成人看護学 II	2	後	2		1	1	
	成人看護学 III	2	後	1			1	
	成人看護学 IV	3	前	2		1	1	
	老年看護学 I	2	前	1		1		
	老年看護学 II	2	後	1		1		
	老年看護学 III	3	前	2			2	
	小児看護学 I	2	後	2		1	1	
	小児看護学 II	3	前	2		1	1	
	母性看護学 I	2	後	2		2		
	母性看護学 II	3	前	2			2	
	精神看護学 I	2	後	1			1	
	精神看護学 II	3	前	2		2		
	精神看護論 III	3	後	1			1	
	在宅看護論 I	3	前	1		1		
	在宅看護論 II	3	後	2		2		
	家族看護学	2	後	1		1		
地域看護学	3	前	1			1		
ホスピス・緩和ケア論	3	後	1		1			
ヘルスプロモーション活動論	3	後		1	1			
リハビリテーション看護学	3	後		1	1			

2. 看護学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	感染看護学	3	後		1	1		
	基礎看護学臨地実習Ⅰ	1	後	1				1
	基礎看護学臨地実習Ⅱ	2	後	2				2
	成人看護学臨地実習Ⅰ	3	後	3				3
	成人看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	老年看護学臨地実習Ⅰ	2	後	1				1
	老年看護学臨地実習Ⅱ	3	後	3				3
	母子看護学臨地実習Ⅰ	3	後	1				1
	母子看護学臨地実習Ⅱ	4	前	3				3
	精神看護学臨地実習	4	前又は後	2				2
	在宅看護学臨地実習	4	前	2				2
	統合看護学臨地実習	4	後	2				2
	生と死の看護ゼミ	2	後	1			1	
	看護研究の基礎	3	後	1		1		
	事例研究	4	前後	2			2	
	看護倫理	4	前	1		1		
	看護管理	4	後	1		1		
	統合看護技術演習	4	前	1			1	
	栄養・看護演習	3	前	1			1	
	看護英文講読	3	後		1	1		
	看護教育学	4	前		1	1		
	国際医療援助論	4	後		1	1		
	災害医療援助論	4	後		1	1		
	合同特別演習	4	前後		1		1	
	人間形成とキャリアデザインⅠ	1	前	1		1		
	人間形成とキャリアデザインⅡ	2	後	1		1		
人間形成とキャリアデザインⅢ	3	後	1		1			

3. 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門基礎科目	人間関係論	1・編3	前	1		1		
	公衆衛生学	2	前	2		2		
	健康管理概論	2・編3	後	2		2		
	保健医療福祉システム論	4編4	前	1		1		
	公衆衛生学実習	2・編3	後	1				1
	生涯発達論	1・編3	前	2		2		
	医療概論	2	前		2	2		
	生化学 I	1	後	2		2		
	生化学 II	2・編3	前	2		2		
	形態機能学 I	1	前	2		2		
	形態機能学 II	1	後	2		2		
	病理学	2	前	2		2		
	微生物学	1・編3	後	2		2		
	病態診療学 I	2・編3	後	2		2		
	病態診療学 II	3・編3	前	2		2		
	生化学実験	2・編3	前	1				1
	形態機能学実習 I	1	後	1				1
	形態機能学実習 II	3・編3	後	1				1
	有機化学	1	前		2	2		
	食品科学 I	1	前	2		2		
	食品科学 II	1	後	2		2		
	調理学	1	前	2		2		
	食品衛生学	2	前	2		2		
	食品科学実験 I	1	後	1				1
	食品科学実験 II	3・編3	前	1				1
	調理学実習 I	1	前	1				1
	調理学実習 II	1	後	1				1
	食品衛生学実験	2・編3	前	1				1
	食品微生物学実験	2・編3	前	1				1
	食品科学 III	2・編4	後		2	2		
環境食事論	4編4	後		1	1			
食文化論	4編4	後		1	1			
専門科目	管理栄養士論	1・編3	前	1		1		
	基礎栄養学	1	後	2		2		
	基礎栄養学実験・実習	2・編3	後	1				1
	応用栄養学 I	2・編3	前	2		2		
	応用栄養学 II	2	後	2		2		
	応用栄養学 III	3・編3	後	2		2		
	応用栄養学実習	3	前	1				1
	国際栄養学	4編4	後		1	1		
	免疫と栄養	3	後		1	1		
	スポーツ栄養学	3・編3	後		1	1		
	栄養教育論 I	2	前	2		2		
	栄養教育論 II	2・編3	後	2		2		
	栄養教育論 III	3・編3	後	2		2		
	栄養教育論実習	3	前	1				1

3. 栄養学科

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
専門科目	カウンセリング演習	3	前		1		1	
	臨床栄養学Ⅰ	2・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅱ	3	前	2		2		
	臨床栄養学Ⅲ	3・編3	後	2		2		
	臨床栄養学Ⅳ	4編4	前	2		2		
	臨床栄養学実習Ⅰ	3	前	1				1
	臨床栄養学実習Ⅱ	3・編3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅳ	4編4	前	1				1
	公衆栄養学Ⅰ	3	前	2		2		
	公衆栄養学Ⅱ	3・編3	後	2		2		
	公衆栄養学実習Ⅰ	3・編3	後	1				1
	地域栄養活動演習	4編4	前		1		1	
	栄養・看護演習	3・編3	前	1			1	
	給食経営管理論Ⅰ	2	前	2		2		
	給食経営管理論Ⅱ	2・編3	後	2			2	
	給食経営管理論実習Ⅰ	2	後	1				1
	フードサービス論	4編4	前		1	1		
	フードサービス実習	4編4	前		1			1
	総合演習Ⅰ	3・編3	前・後	1			1	
	総合演習Ⅱ	4編4	前・後	2			2	
	食といのちのゼミ	4編4	後	1			1	
	英文文献講読	3	後		1		1	
	合同特別演習	4編4	前後		1		1	
	卒業研究	4編4	前・後		3			3
	給食経営管理論実習Ⅱ(学外実習)	3	後	1				1
	臨床栄養学実習Ⅲ(学外実習)	3・編3	後	2				2
	公衆栄養学実習Ⅱ(学外実習)	4編4	前・後		▲1			1
	給食経営管理論実習Ⅲ(学外実習)	4編4	前・後		▲1			1
臨床栄養学実習Ⅴ(学外実習)	4編4	前・後		3			3	
給食経営管理論実習Ⅳ(学外実習)	4編4	前・後		1			1	
学校栄養指導論Ⅰ	3	前		2	2			
学校栄養指導論Ⅱ	3	後		2	2			

#### 4. 教職課程

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
教職課程科目	教職概論	1	前		2	2		
	教育原論	1	後		1	1		
	教育制度論	2	前		1	1		
	教育課程論	1	後		1	1		
	道德教育論	2	後		1	1		
	特別活動論	2	後		1	1		
	教育方法論	2	前		1	1		
	生徒指導論	2	後		2	2		
	栄養教育実習	4	前		1			1
	栄養教育実習事前事後指導	4	前		1			1
	教職実践演習	4	前・後		2		2	
	教職総合演習	3	後		2		2	

栄養学科で教職課程を登録した学生のみ履修することができます。

5. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士前期課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
基礎科目	倫理学特論	1	後	1		1		
	統計学特論	1	前	1			1	
	人間関係論特論	1	後	1		1		
	医療情報・管理学特論	1・2	後		2	2		
専門基礎科目	食品衛生学特論	1	前	2		2		
	食品学特論	1・2	後		2	2		
	食薬理学特論	1・2	前		2	2		
	栄養生理学特論	1・2	前		2	2		
	代謝栄養学特論	1	後	2		2		
	栄養免疫学特論	1・2	後		2	2		
	薬理学特論	1・2	前		2	2		
	保健医療福祉システム特論	1・2	後		2	2		
専門実践科目	家族関係論特論	1・2	前		2	2		
	栄養管理学特論	1	前	2		2		
	栄養疫学特論	1・2	後		2	2		
	健康行動理論	1	前	2		2		
	栄養診断学特論	1	後	2		2		
	栄養管理学総合演習	1	前後	2			2	
	臨床栄養学特論	1	前	2		2		
栄養管理学特別研究	1~2	前後	4				4	
栄養管理学特別演習	1~2	前後	4			4		

6. 大学院看護栄養学研究科 栄養管理学専攻 (博士後期課程)

科目区分	授業科目	受講年次	学期	単位		区分		
				必修	選択	講義	演習	実習
共通	研究方法特論	1	前後	4		4		
基礎系栄養管理学分野	基礎系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	基礎系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12
実践系栄養管理学分野	実践系栄養管理学特論	1	前		2	2		
	実践系栄養管理学特別研究	1~3	前後		12			12



7. 大学院看護栄養学研究科 看護学専攻（修士課程）

科目区分	授業科目	受講年次	学期	修論コース		上級実践コース		○印 CNS 対象 科目	実習	
				単位数		単位数				
				必修	選択	必修	選択			
基礎科目	看護理論特論	1	前	2		2		○		
	倫理学特論	1	後	2		2		○		
	看護研究法Ⅰ	1	前	2		2		○		
	看護研究法Ⅱ	1	後		1		1			
	看護研究法Ⅲ	1	後		1		1			
	統計学特論	1	前		1		1			
	看護教育学特論Ⅰ	1	前		2	2		○		
	看護教育学特論Ⅱ	1	後		1		1			
	看護管理学特論	1	後		2		2	○		
	コンサルテーション論	1	後		1	1		○		
	医療情報・管理学特論	1・2	後		2		2			
	看護政策論	2	後		1	1		○		
専門基礎科目	人間関係論特論	1	後		2		2			
	がん・緩和疾患病態学	1	前		2		2	○		
	薬理学特論	1	前		2		2	○		
	保健医療福祉システム特論	1	後		2		2			
	健康行動理論	1	前		2		2			
	代謝栄養学特論	1	後		2		2			
	家族関係論特論	1	前		2		2			
専攻分野専門科目	学コ 1 公衆衛生看護学	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1	前	2					
		公衆衛生看護学特論Ⅱ	1	前	2					
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1	前	2					
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1~2	後前	2					
	コ 1 成人看護学	成人看護学特論Ⅰ	1	前	2					
		成人看護学特論Ⅱ	1	前	2					
		成人看護学演習Ⅰ	1	後	2					
		成人看護学演習Ⅱ	1~2	後前	2					
	看護学 コ 1 ホスピス緩和ケア	ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅰ	1	前			2		○	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅱ	1	前			2		○	
		ホスピス緩和ケア看護学特論Ⅲ	2	前			2		○	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅰ	1	前			2		○	
		ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅱ	1	後			2		○	
ホスピス緩和ケア看護学演習Ⅲ		1~2	後前			2		○		
特別	看護研究	2	前後	8						
実	習Ⅰ	1	後			4		○	4	
実	習Ⅱ	2	前			3		○	3	
実	習Ⅲ	2	前			3		○	3	
課	題研究	2	前後			2				

### Ⅲ. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2015年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護栄養学部	看護学科		348	93 (9)	93 (2)	99 (3)	97 (8)	382 (22)	109.8%
	栄養学科		350	86 (2)	87 (2)	90 (0)	99 (0)	362 (4)	103.4%
		(うち編入生)	10	—	—	4 (0)	3 (0)	7 (0)	70.0%
	小計			698	179 (11)	180 (4)	189 (3)	196 (8)	744 (26)
助大産学院 助産研究科	助産専攻	助産基礎分野	60	21 —	21 —	— —	— —	42 —	70.0%
		助産教育分野	20	1 —	4 —	— —	— —	5 —	25.0%
	小計			80	22 —	25 —	— —	47 —	58.8%
看護学院 看護学専攻 栄養管理学専攻	看護学専攻	ホスピス・緩和ケア看護学コース	16	2 (0)	2 (0)	— —	— —	4 (0)	62.5%
		公衆衛生看護学コース		0 (0)	4 (1)	— —	— —	4 (1)	
		成人看護学コース		0 (0)	1 (1)	— —	— —	1 (0)	
		精神看護学コース		0 (0)	0 (0)	— —	— —	0 (0)	
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	3 (0)	3 (0)	— —	— —	6 (0)	100.0%
		博士後期課程	6	1 (0)	1 (0)	1 (0)	— —	3 (0)	50.0%
	小計			28	6 (0)	11 (1)	1 (0)	— —	18 (1)
合計			806	207 (11)	216 (5)	190 (3)	196 (8)	809 (27)	100.4%

社会人学生数

(2015年5月1日現在)

所属	学 科	1年	2年	3年	4年	計
看護栄養学部	看護学科	3 (0)	4 (0)	8 (2)	6 (1)	21 (3)
	栄養学科	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
	小計	5 (1)	5 (0)	8 (2)	6 (1)	24 (4)

### Ⅲ. 学生数・奨学金の採用状況

在籍者数

(2015年5月1日現在)

所属	学科・専攻	コース名等	収容定員	1年	2年	3年	4年	計	収容定員充足率
看護栄養学部	看護学科		348	93 (9)	93 (2)	99 (3)	97 (8)	382 (22)	109.8%
	栄養学科		350	86 (2)	87 (2)	90 (0)	99 (0)	362 (4)	103.4%
		(うち編入生)	10	—	—	4 (0)	3 (0)	7 (0)	70.0%
	小計			698	179 (11)	180 (4)	189 (3)	196 (8)	744 (26)
助大産院 助産研究科	助産専攻	助産基礎分野	60	21 —	21 —	— —	— —	42 —	70.0%
		助産教育分野	20	1 —	4 —	— —	— —	5 —	25.0%
	小計			80	22 —	25 —	— —	— —	47 —
看護大学院 看護学研究科	看護学専攻	ホスピス・緩和ケア看護学コース	16	2 (0)	2 (0)	— —	— —	4 (0)	62.5%
		公衆衛生看護学コース		0 (0)	4 (1)	— —	— —	4 (1)	
		成人看護学コース		0 (0)	1 (1)	— —	— —	1 (0)	
		精神看護学コース		0 (0)	0 (0)	— —	— —	0 (0)	
	栄養管理学専攻	博士前期課程	6	3 (0)	3 (0)	— —	— —	6 (0)	100.0%
		博士後期課程	6	1 (0)	1 (0)	1 (0)	— —	3 (0)	50.0%
	小計			28	6 (0)	11 (1)	1 (0)	— —	18 (1)
合計			806	207 (11)	216 (5)	190 (3)	196 (8)	809 (27)	100.4%

社会人学生数

(2015年5月1日現在)

所属	学 科	1年	2年	3年	4年	計
看護栄養学部	看護学科	3 (0)	4 (0)	8 (2)	6 (1)	21 (3)
	栄養学科	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
	小計	5 (1)	5 (0)	8 (2)	6 (1)	24 (4)

奨学金の種類と採用数（2015年8月現在）

対象	奨学金の種類		奨学金の金額		貸与・給付の別	採用数
全学生	天使大学貸与奨学金		月 額	30,000円	無利子貸与	43人
	日本学生支援機構奨学金	第一種	月 額	30,000円 または、自宅通学 54,000円 自宅外通学 64,000円	無利子貸与	172人
		第二種 (月額選択)	月 額	30,000円、50,000円 80,000円、100,000円 120,000円	有利子貸与 利率変動3%以内	240人
2 年 次 生 以 上	天使大学シスター川原ユキエ 記念奨学金		年 額	看護学科 600,000円 栄養学科 500,000円	給付、返還不要	10人
	天使大学給付奨学金		年 額	200,000円	給付、返還不要	20人
	天使大学同窓会奨学金		年 額	300,000円	無利子貸与	1人
1～3年 次生	学業成績優秀者奨励金		年 額	50,000円	給付	6人
看学生	北海道看護職員養成修学資金		月 額	32,000円	道内特定施設に5年以上 勤務の場合返還免除	19人
全 学 生	その他の奨学金					7人
合 計						518人

IV. 国家試験合格率

国家試験合格率

学 部・学 科	国家試験の名称	受験者数 (A)	合格者数 (B)	合格率 (%) B/A*100	全国合格率 (%)
天使大学大学院 助産研究科	助産師国家試験	20 人	20 人	100.00%	99.90%
看護栄養学部 看護学科	看護師国家試験	95 人	93 人	97.90%	94.90%
看護栄養学部 看護学科	保健師国家試験	6 人	5 人	83.30%	92.60%
看護栄養学部 栄養学科	管理栄養士国家試験	97 人	87 人	89.69%	85.11%

## V. 就職・進学状況

学科別就職希望者（2016年3月31日現在）

〔学科別就職希望者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合	数	割合	数	割合	数	卒業生に対する割合
就職希望の有無	希望有りの者	78	82.1%	8	8.4%	86	90.5%	94	96.9%	0	0.0%	94	96.9%
	希望無しの者	9	9.5%	0	0.0%	9	9.5%	3	3.1%	0	0.0%	3	3.1%
計(卒業生数)		87	100.0%	8	100.0%	95	100.0%	97	100.0%	0	0.0%	97	100.0%

〔学科別就職決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職希望者に対する割合
決定数/決定率		78	90.7%	8	9.3%	86	100.0%	88	93.6%	0	0.0%	88	93.6%

〔地域別・就職別決定者〕

学科		看護学科						栄養学科					
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合	数	割合	数	割合	数	就職者に対する割合
地域別	道外	22	28.2%	4	50.0%	26	30.2%	20	22.7%	0	0.0%	20	22.7%
	道内	56	71.8%	4	50.0%	60	69.8%	68	77.3%	0	0.0%	68	77.3%
	市内(再掲)	(52)	(66.7%)	(3)	(37.5%)	(55)	(64.0%)	(44)	(50.0%)	(0)	(0.0%)	(44)	(50.0%)
職種別	看護師	78	90.7%	8	9.3%	86	100.0%						
	保健師	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%						
	管理栄養士							38	43.2%	0	0.0%	38	43.2%
	栄養士							25	28.4%	0	0.0%	25	28.4%
	栄養教諭							3	3.4%	0	0.0%	3	3.4%
	食品衛生監視員							0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	一般企業							20	22.7%	0	0.0%	20	22.7%
	上記以外							2	2.3%	0	0.0%	2	2.3%

〔進学状況〕

学科		看護学科				栄養学科							
性別		女子		男子		計		女子		男子		計	
項目		数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合	数	割合	数	割合	数	進学希望者に対する割合
進学希望者数		6		0		6		0		0		0	
進学合格者数		6		0		6	100%	0		0		0	0.0%

2015年度求人件数・人数（2016年3月11日現在）

〔看護職〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
看護師	51	107	274	0	432	1,368	1,944	18,194	0	21,506
保健師	7	69	25	0	101	34	190	104	0	328
助産師	16	30	141	0	187	78	120	1,009	0	1,207
計	74	206	440	0	720	1,480	2,254	19,307	0	23,041

〔栄養士職〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
栄養士	49	83	22	0	154	49	83	22	0	154
管理栄養士	54	141	25	0	220	200	338	104	0	642
栄養教諭	1	4	2	0	7	10	15	15	0	40
計	104	228	49	0	381	259	436	141	0	836

〔一般職・その他〕

職 種	件 数					人 数				
	(市内)	道内	道外	全国	件数合計	(市内)	道内	道外	全国	人数合計
一般	33	69	106	0	208	1,305	1,794	6,822	0	9,921

合計	211	503	595	0	1,309	3,044	4,484	26,270	0	33,798
----	-----	-----	-----	---	-------	-------	-------	--------	---	--------

注1 (市内)は道内の内数

注2 道内+道外+全国=合計

注3 全国は勤務先が道内・道外に限定されない場合

注4 若干名は3とカウントする

注5 保健師・助産師求人数は人数を明記してある場合以外は3とカウントする

## VI. 2016 年度入学試験結果

2016年度天使大学・大学院入学試験結果

### 看護栄養学部

\* ( ) は、昨年度の数字です

#### ◆看護学科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
指定校推薦	40	5	(7)	5	(7)	5	(7)	5	(7)	1.0
公募制推薦		40	(52)	40	(52)	36	(35)	36	(35)	1.1
社会人	37	13	(9)	12	(9)	2	(1)	2	(1)	6.0
一般		316	(281)	314	(277)	71	(72)	40	(39)	4.4
センター利用	10	143	(154)	143	(154)	28	(28)	10	(11)	5.1
総計	87	517	(503)	514	(499)	142	(143)	93	(93)	3.6

#### ◆栄養学科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
指定校推薦	42	4	(4)	4	(4)	4	(4)	4	(4)	1.0
公募制推薦		49	(60)	49	(60)	38	(38)	38	(38)	1.3
社会人	33	0	(2)	0	(2)	0	(2)	0	(2)	—
一般		75	(123)	72	(121)	43	(42)	39	(30)	1.7
センター利用	10	59	(110)	59	(110)	12	(18)	9	(11)	4.9
総計	85	187	(299)	184	(297)	97	(104)	90	(85)	1.9

#### ◆栄養学科 (3年次編入)

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
	5	8	(11)	8	(11)	5	(5)	4	(4)	1.6

### 大学院 看護栄養学研究科

#### ◆看護学専攻 (保健師コースを除く)

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
前期	8	0	(2)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	—
後期		2	(1)	2	(1)	0	(1)	0	(1)	—
総計	8	2	(3)	2	(2)	0	(2)	0	(2)	—

#### ◆看護学専攻 (保健師コース)

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
推薦	6	0	—	0	—	0	—	0	—	—
一般 前期		5	—	5	—	5	—	5	—	1.0
一般 後期		1	—	1	—	0	—	0	—	—
総計	6	6	—	6	—	5	—	5	—	1.2

#### ◆栄養管理学専攻 博士前期課程

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
前期	3	0	(1)	0	(1)	0	(1)	0	(1)	—
後期		0	(2)	0	(2)	0	(2)	0	(2)	—
総計	3	0	(3)	0	(3)	0	(3)	0	(3)	—

#### ◆栄養管理学専攻 博士後期課程

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)
前期	2	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	—
後期		0	(2)	0	(2)	0	(1)	0	(1)	—
総計	2	0	(2)	0	(2)	0	(1)	0	(1)	—

### 大学院 助産研究科

試験種別	定員 (名)	志願者数		受験者数		合格者数		入学者数		倍率 (受/合)	
基礎分野	推薦	10	(11)	5	(11)	5	(11)	5	(11)	1.0	
	前期一般	15	7	(4)	4	(4)	3	(3)	3	(2)	1.3
	前期社会人		2	(4)	2	(4)	2	(3)	2	(3)	1.0
	後期一般		5	(4)	1	(4)	1	(2)	1	(2)	1.0
	後期社会人	1	(3)	1	(3)	1	(3)	1	(3)	1.0	
分教 野育	前期	10	1	(1)	1	(1)	0	(1)	0	(1)	—
	後期		2	(0)	2	(0)	2	(0)	2	(0)	1.0
総計	40	19	(27)	16	(27)	14	(23)	14	(22)	1.1	

## Ⅶ. 教員組織

教員組織一覽

(2015年5月1日現在)

所 属		教授	准教授	講師	助教	助手	計
大学院	助産研究科	8人	1人	1人	2人	0人	12人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	31人
看護栄養学部	看護学科	6人	5人	8人	6人	2人	27人
	栄養学科	9人	5人	6人	2人	4人	26人
	教養教育科	4人	3人	0人	0人	0人	7人
	計	19人	13人	14人	8人	6人	60人
	兼任教員(非常勤講師)	—	—	—	—	—	84人
合計		27人	14人	15人	10人	6人	187人

専任教員年齢構成

(2015年5月1日現在)

所属	職位	71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	31歳～35歳	26歳～30歳	計
助産研究科	教授	1	0	3	4	0	0	0	0	0	0	8
		12.5%	0.0%	37.5%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	計	1	0	3	4	2	1	1	0	0	0	12
		8.3%	0.0%	25.0%	33.3%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
助手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0%	
小計	1	0	3	4	2	1	1	0	0	0	12	
	8.3%	0.0%	25.0%	33.3%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100%	
看護栄養学部・看護栄養学研究科	教授	0	5	6	4	2	2	0	0	0	0	19
		0.0%	26.3%	31.6%	21.1%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	准教授	0	0	3	1	3	4	2	0	0	0	13
		0.0%	0.0%	23.1%	7.7%	23.1%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100%
	講師	0	0	0	1	3	7	0	3	0	0	14
		0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	50.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	100%
	助教	0	0	0	0	1	0	2	4	1	0	8
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	100%
	計	0	5	9	6	9	13	4	7	1	0	54
		0.0%	9.3%	16.7%	11.1%	16.7%	24.1%	7.4%	13.0%	1.9%	0.0%	100%
助手	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	6	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	50.0%	100%	
小計	0	5	9	6	9	13	4	8	3	3	60	
	0.0%	8.3%	15.0%	10.0%	15.0%	21.7%	6.7%	13.3%	5.0%	5.0%	100%	
合計	1	5	12	10	11	14	5	8	3	3	72	
	1.4%	6.9%	16.7%	13.9%	15.3%	19.4%	6.9%	11.1%	4.2%	4.2%	100%	

※定年：65歳



教員の任免・昇任者一覧

(2015年3月31日現在)

学科・科	採用者					昇任者		退職者				
	教授	准教授	講師	助教	助手	准教授から教授	助教から講師	教授	准教授	講師	助教	助手
助産研究科	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
看護学科	0人	0人	2人	1人	4人	0人	1人	2人	1人	0人	0人	2人
栄養学科	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	2人	0人	0人	0人	1人
教養教育科	1人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
計	2人	1人	2人	1人	4人	3人	2人	5人	1人	0人	0人	3人

VIII. 事務組織

(2015年5月1日現在)

区分	部門	専任職員		常勤嘱託職員	臨時職員	派遣職員	その他	計
			うち管理職					
法人業務系	事務局長	0	0	1	0	0	0	1
	参与	0	0	1	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	2	0	0	0	2
大学業務系	総務課	4	2	3	4	0	0	11
	学務課	5	1	4	4	0	0	13
	図書情報課	4	1	3	0	0	0	7
	財務室	3	1	3	4	0	0	10
	入試・広報室	3	1	1	0	0	0	4
	計	19	6	14	12	0	0	45
合計		19	6	16	12	0	0	47

## IX. 研究等の活動

独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業（代表者）の採択状況

	代表者名	研究課題名	種別
1	看護学科・教授 荻津 智子	小中学校教員の子どもグリーフに関する認識とグリーフケア	基盤C 継続採択
2	栄養学科・教授 佐藤 香苗	地域で暮らす認知症高齢者のための新規栄養ケアモデルの構築と応用可能性	基盤C 継続採択
3	看護学科・教授 吉田 礼維子	介護予防システムを推進する保健師の活動強化プログラムの検討	基盤C 新規採択
4	栄養学科・助教 松下 真美	食事タンパク質・アミノ酸の抗肥満効果に対する褐色脂肪熱産生の寄与	若手研究B 新規採択

特別研究費の助成状況

	氏名	研究課題名
1	看護学科・教授 吉田 礼維子	本学大学院で養成する高度専門職業人に共通するコンピテンシーの明確化～両専攻共通科目の提言に向けて～
2	栄養学科・教授 大久保 岩男	北海道産マタタビおよびサルナシの果実に含まれるシステインプロテアーゼの構造および機能解析に関する研究
3	栄養学科・准教授 鈴木 純子	生活習慣病患者の概日リズム改善が安静時代謝量に及ぼす影響
4	看護学科・教授 荒井 春生	精神科病院における保護室の環境条件に関する検討
5	栄養学科・講師 岡部 哲子	病院栄養士の給食経営管理業務にかかわる就業実態 —管理栄養士養成施設の卒業生を対象とする実態調査—
6	栄養学科・教授 武蔵 学	スポーツ貧血の研究 —マラソン後のIL-6とヘプシジンの増加
7	看護学科・助教 小澤 涼子	積雪寒冷地における壮年期第一次産業従事者の健康観
8	看護学科・助教 田中 さおり	S G A性低身長症児とその家族に関する看護師の認識の実態
9	看護学科・助教 富川 将史	I C T導入による課題達成型ヘルスアセスメントの教授方略の開発 ～アクティブラーナー育成に向けた取り組み～
10	栄養学科・准教授 清水 真理	特定(多数)給食施設における栄養管理に関する実態と指導および支援方法の検討

受託研究等

	代表者名	研究課題名	種別
1	栄養学科・助教 松下 真美	ヒト褐色脂肪に対するカプシエイト類の効果に関する研究	奨学寄付
2	栄養学科・教授 久保 ちづる	道産の機能性リッチな食材を活用し、生活習慣病を改善する料理研究の促進のため	奨学寄付
3	栄養学科・教授 大久保 岩男	日本食によるストレス・脳機能改善効果の解明	共同研究
4	栄養学科・教授 大久保岩男	世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証	共同研究
5	栄養学科・教授 大久保 岩男	アロニア果汁による血糖値の上昇抑制効果に関する確認試験	受託研究
6	栄養学科・教授 下田 妙子	ビフィズス菌摂取による血中ヘモグロビン改善作用に要する調査	受託研究
7	栄養学科・助教 松下 真美	褐色脂肪組織活性と食後消化管ホルモン動態との関連性評価検討	受託研究

FD・SDの実施状況

分類	日時	テーマ	内容
(FD研修会 看護栄養学 部)	2016年3月1日(火)	パフォーマンス評価入門	講師：大阪大学教育学習支援センター 副センター長 全学教育推進機構 佐藤 浩章氏
(FD研修会 看護栄養学 研)	2015年12月19日(土)	大学院修士課程における栄養ケア・マネジメントのインターン研修	講師：神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部栄養学科 教授 杉山 みち子氏
(FD研修会 助産学科)	2015年6月17日(水)	臨床研究の考え方、進め方ー臨床研究の学者のための基本ー	講師：北海道大学病院教授 佐藤 典宏氏
	2015年10月21日(水)	健康日本21(第二次)における栄養対策ー国・自治体の動向と大学の役割	講師：新潟県立大学人間生活学部 教授 村山 伸子氏
SD 研修会	2015年8月28日(金)	「高大連携改革実行プランー大学への入り口の問題ー」 「内部質保証、地域包括支援システムー出口の問題ー」	講師：天使大学 学長 武蔵 学氏

公開講座の実施状況

日時	テーマ	内容
2015年8月20日（木） ） 2015年9月17日（木）	いのちみつめて	2015年度第16回天使大学看護栄養学部公開講座（北海道薬科大学連携公開講座）が、「いのちみつめて」を全体テーマとして開催されました。参加登録者は定員80名に対して92名、受講者の延べ人数は331名でした。

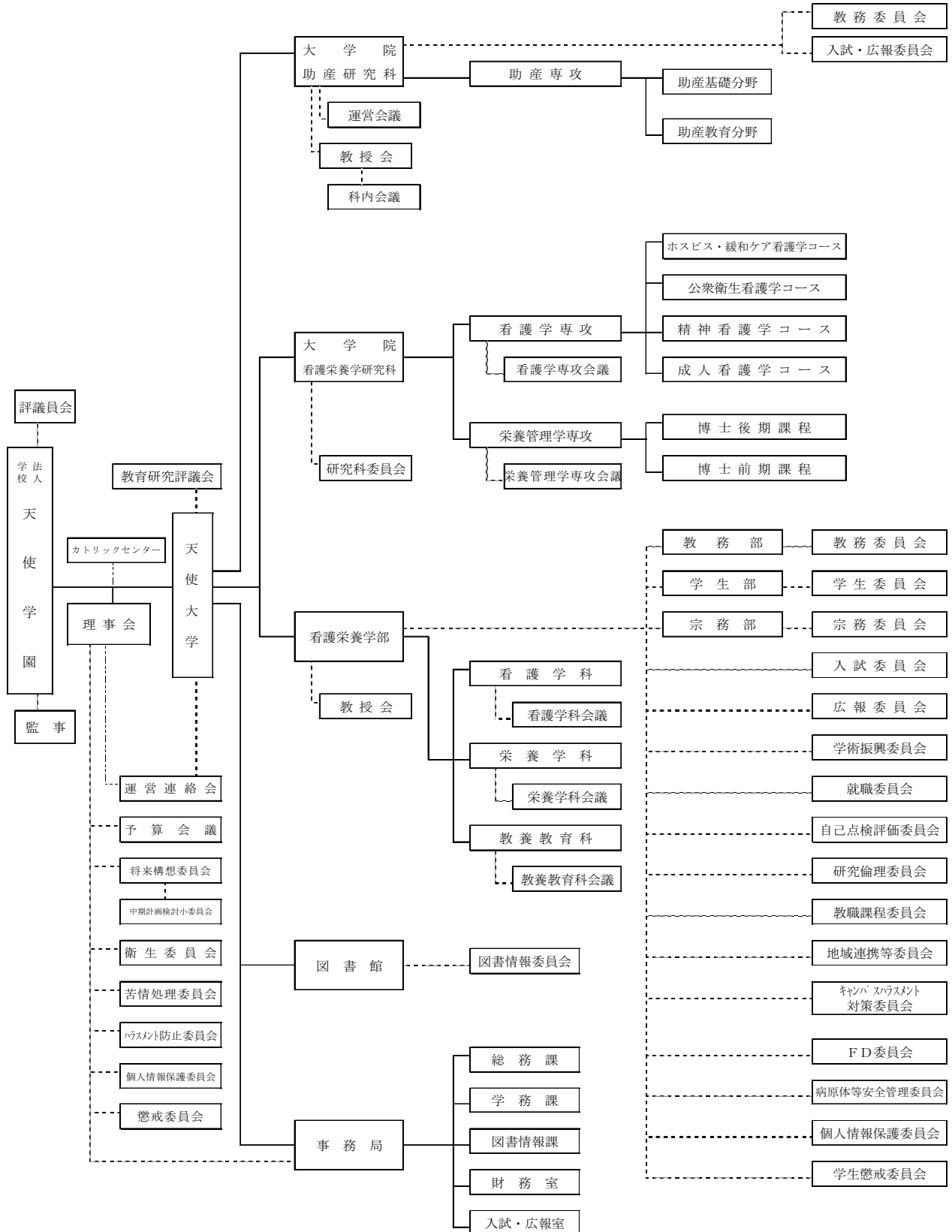
その他の活動

分類	活動内容
天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻ホスピス緩和ケアセミナー	2015年6月20日（土）に本学6101講義室にて、本学大学院看護栄養学研究科のデボラ・ウィット・シャーマン教授を講師に「終末期ケアにおける患者・家族の意思決定支援～アドバンス・ケア・プランニング～」をテーマに講演しました。参加者は71名でした。
天使大学ヘルスケア実践開発プロジェクト	①講演会 2015年10月5日（月）に本学6603講義室にて、大分県立看護科学大学理事長の村嶋幸代氏を招聘し、「大分県立看護科学大学の地域貢献活動－学部学生の家庭訪問活動などについて－」をテーマに講演していただきました。 ②天使大学子育てサロンの実施 2016年3月11日（金）に本学8号館ラウンジにて、子育て世代の母親を対象としたサロンを実施しました。 ③札幌市東区「すこやか倶楽部」への協力 2015年9月24日～29日に札幌市東区の鉄東地区・苗穂東地区で「栄養改善講座」を開催しました。また、2016年2月25日～26日に札幌市東区の鉄東地区で「この寒い時期の血圧の値は大丈夫？」をテーマに講座を開催しました。 ④認知症サポーター養成講座の開催 看護栄養学部の学生を対象に、札幌市の協力を得て養成講座を開催しました。
天使大学後援会助成による教育講演会	2015年11月21日（土）に本学6101講義室にて、KKR札幌医療センター整形外科医長の重信恵一氏を招聘し、「健やかに老いる～ロコモって何？」をテーマに講演していただきました。
札幌市東区保健福祉部・東区健康づくり連絡協議会との連携	2015年度は学部学生により「広報さっぽろ東区版及びホームページでのレシピの紹介」、「食育推進ネットワーク事業への参加」、「天使祭での健康相談・地域の健康づくり活動の紹介」、「たまねぎフェスタの運営協力」、「天使の昼食会」、「東区健康づくりフェスティバルの運営協力」など9事業に参加しました。
天使大学、札幌大谷大学、北海道体育大学校、札幌保健医療大学および札幌市東区による地域連携協定	札幌市東区に設置する3大学と1専門学校および札幌市東区による地域連携協定に基づき、「健康」をテーマに地域住民向けのスポーツまつりを2015年10月18日（日）につどーむで開催し、「天使大の健康塾」というブースで、看護・栄養の学生達が参加者への食事のアドバイスや血圧測定を行いました。
生活協同組合コープさっぽろとの連携	食育の推進と食の信頼性の向上に貢献することを目的に、産学連携プロジェクトとして生活協同組合コープさっぽろと連携を行っています。連携内容は、料理レシピの共同開発、食品表示検定試験の協力、コープさっぽろ主催イベントへの参加など、栄養学科の多数の学生および教員が協力を行っています。
東日本大震災復興支援プロジェクトの活動	2011年6月に発足した東日本大震災支援プロジェクトは2012年度より名称に「復興」を加えて「東日本大震災復興支援プロジェクト」とし、次のとおりの支援事業の企画・運営を行いました。本プロジェクトは、本年度をもって5年を経過したことから終了することとし、引き続きボランティア活動に参加する学生に対しては天使大学同窓会が支援することになりました。 ①ボランティア活動支援 延べ27名の学生が長期休暇を利用して宮古市や釜石市等でボランティアに携わりました。 ②ボランティア活動報告会 2015年6月2日（火）に被災地にてボランティア活動に従事した学生の報告会を開催しました。 ③震災復興支援シンポジウム 2015年10月22日（木）に前半は「震災から5年目をむかえて～いま私たちにできること～」をテーマに宮城県土木部復興まちづくり推進室長の茂泉博史氏と福島県保健福祉部健康推進課の小野喜代子氏を講師にお迎えして講演していただき、後半は講師2名に加え、仙台教区サポートセンターの濱山麻子氏と看護学科卒業生と栄養学科在学生の5名でディスカッションを行いました。 ④ボランティア講習会 2016年1月15日（金）に心理カウンセラー2名を講師にお迎えし、「コミュニケーションスキルを学ぼう～心のいたみを抱えた方へのアプローチ法～」というテーマで講習会を開催しました。 ⑤天使祭への出店 天使祭の一般公開日である2015年6月13日（土）に本プロジェクトのブースを設けて被災地の産物を販売し、東北の郷土料理である「せんべい汁」の販売も行いました。また、本プロジェクトの活動内容をまとめたリーフレットを作成し、会場のテーブルに設置しました。

# X. 組織図

## 学校法人天使学園 管理運営組織図

天使大学大学院 助産研究科  
 天使大学大学院 看護栄養学研究科  
 天使大学 看護栄養学部



## XI. 会議の開催状況

### 看護栄養学学部教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
臨時	2015年4月1日(水)	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 2015年度校務分掌・委員会構成について 2) 2015年度教授会構成員について 3) 2015年度教授会・研究委員会開催予定について 4) 2015年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験に係る追加合格について 5) 2014年度進級判定(判定保留者分)の結果について
1	2015年4月8日(水)	1. 審議事項 1) 2015年度非常勤講師の委嘱について 2) 看護学科教員の採用に係る募集大綱について 3) 栄養学科学生の進級判定の変更について 2. 報告事項 1) 2015年度学校医・精神神経科医について 2) 2015年度合唱コンクール実施について 3) 2015年度イースターの集い及び今後の宗教行事の予定について 4) 教授会運営のあり方について 5) 2015年度学園・大学事業計画及び当初予算について 6) 栄養学科学生の進級判定の変更について 7) 2014年度海外研修旅行の終了について 8) その他 ①学部教授会、研究科委員会の日程変更について ②学部教授会の開始時間について ③事務局職員の人事について
2	2015年5月12日(火)	1. 審議事項 1) 2015年度既修得単位の授与について 2) 2015年度非常勤講師の委嘱変更について 3) 2016年度看護栄養学部、栄養学科編入学試験、指定校推薦入学試験学生募集要項について 4) 「指定校推薦」枠の取消し基準に関する内規について 2. 報告事項 1) 英語および化学・生物にかかる試験の結果 2) 2015年度 天使祭について 3) 自衛消防訓練の実施について 4) 委員会報告 5) 大学院看護栄養学研究科看護学専攻及び看護学科教員の採用について 6) 看護学実習・成績評価に関する外部委員会の設置について
3	2015年6月9日(火)	1. 審議事項 1) 2015年度非常勤講師の委嘱変更について 2) 2014年度非常勤講師の委嘱・変更について 3) 卒業証明書(和文・英文)の文面変更及び学位名称の英語表記の変更について 2. 報告事項 1) 2014年度学校法人天使学園・天使大学事業報告および会計収支決算について 2) 2014年度学校法人天使学園・天使大学監事監査報告について 3) 学業成績優秀者奨励金該当者について 4) 学術振興委員会主催講演会に開催について 5) 2015年度葦の会役員、部長および部活動団体について 6) 委員会報告
4	2015年7月14日(火)	1. 審議事項 1) 天使大学学位規程の一部改正(案)について 2) 天使大学学位取得に関する細則の一部改正(案)について 3) 研究に関するアンケート調査について 4) 2015年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 「第31回カトリック医療関連学生セミナーin岡山」の学生参加について 2) 他大学サークルによる飲酒強要、入金未返金のトラブルについて 3) 定期試験解答用紙の取り扱い方法の変更について 4) 進級にかかわる対応について 5) 委員会報告 6) ヘルスケア実践開発プロジェクトについて 7) その他 カリキュラム検討委員会および看護栄養学研究科課程増設等検討委員会の開催状況について

回	開催年月日	審議・報告事項
5	2015年8月5日(火)	1. 審議事項 1) 休学願の許可について 2) 復学願の許可について 3) 2015年度単位の授与について 2. 報告事項 1) 2015年度学事歴の一部変更について 2) 人事方針について 3) 委員会報告 ・前期卒業生に係る学位授与式の中止について ・震災復興支援プロジェクトによる10月22日(木)シンポジウムの開催について ・ヘルスケア実践開発プロジェクトについて ・札幌米国総領事館主催の英語コンテスト グランプリの受賞について ・北海道薬科大学との夕張地域医療研修(9月2日～4日)の実施について 4) その他 ・天使大学研究活動における不正行為への対応に関する規程等の制定について ・特別研究費の決定について ・教授会報告について
6	2015年9月8日(火)	1. 審議事項 1) 休学願の許可について 2) 2015年度単位の授与について 3) 学則の一部改正について 4) 履修規程の一部改正について 5) 教員の採用に係る募集大綱について 2. 報告事項 1) 2015年度特別研究費の決定について 2) 2015年度避難訓練アンケートの調査結果について 3) 委員会報告 4) 2015年度後期宗務行事予定 5) 改正 非常勤講師・専任教員の委嘱に関する申し合わせ事項について 6) 再履修科目のある学生の履修について
7	2015年10月6日(火)	1. 審議事項 1) 休学願の許可について 2) 2015年度非常勤講師の委嘱および変更について 3) 教授会講成員以外への教授会報告について 2. 報告事項 1) 天使大学研究活動における不正行為への対応に関する+規程等の制定について 2) 「研究費に関する規程」及び「天使大学特別研究費審査委員会規程」の一部改正(案)について 3) 2015年度 Food and Life Step-up Ceremony実施要領について 4) 2015年度 体育祭の実施について 5) 教職員修養会の日程について 6) 専任教員の新規担当科目について 7) 学術振興委員会主催 後期講演会の開催について 8) 委員会報告 9) 教員の昇任手続きの開始について
8	2015年11月10日(火)	1. 審議事項 1) 2015年度非常勤講師の委嘱について 2) 2016年度非常勤講師の委嘱について 3) 2016年度学事歴について 4) 2016年度以降の授業評価アンケートについて 5) 看護学科専任教員の採用に係る募集大綱について 6) 「研究費に関する規程」及び「天使大学特別研究費審査委員会規程」の一部改正(案)に係る意見集約結果について 2. 報告事項 1) 看護学科専任教員の退職願について 2) 2015年度戴帽式実施要領について 3) クリスマス関連の行事予定について 4) 2016年度会議日程[予定](第2次案)について 5) 2015年度海外研修旅行について 6) 教職員修養会の日程・内容等について 7) 委員会報告 8) 研究に関するアンケート調査の実施について
臨時	2015年11月18日(水)	1. 審議事項 1) 2016年度指定校推薦入学試験、公募制推薦入学試験、社会人入学試験、並びに栄養学科編入学試験の可否判定について 2. 報告事項 なし

回	開催年月日	審議・報告事項
9	2015年12月1日(火)	1. 審議事項 1) 2017年度看護栄養学部入学試験日程について 2) 休学願の許可について 3) 2016年度非常勤講師の委嘱について 4) 特別の課程の履修証明制度に関する規程の一部改正(案)について 5) 看護学科専任教員の採用に係る募集大綱について 6) 栄養学科嘱託教員の採用に係る募集大綱について 2. 報告事項 1) 2016年度学事暦の一部訂正について 2) 2015年度FD研修会の開催について 3) 2016年度導入予定の事務システムについて 4) 委員会報告 5) 2016年度予算編成方針について 6) 2016年度嘱託教員の雇用契約の継続について 7) 天使大学と北海道薬科大学との連携協定について 8) 2016年度以降の成績の表示について
10	2016年1月13日(水)	1. 審議事項 1) 2016年度非常勤講師の委嘱について 2) 履修規程の一部改正について 3) 「指定校推薦」枠の取消し基準に関する内規について 4) 看護学科教員の採用に係る募集大綱について 2. 報告事項 1) 2016年度学事暦の一部変更について 2) 履修要項(栄養学科進級要件)の変更について 3) 台風・暴風雨・暴風雪等の警報発令時の休講措置の変更について 4) 2015年度年報の作成および活動報告会の開催について 5) 2015年度補正予算について 6) 平成26年度文部科学省私立大学等研究設備費等補助金(ICT活用推進事業)申請に係る協力について 7) 2016年度カトリック医療学生セミナー 8) 委員会報告 9) 2016年度特任教員の雇用契約の継続について 10) 看護学科専任教員の退職願について
11	2016年2月10日(水)	1. 審議事項 1) 2016年度一般入学試験(栄養学科)の可否判定について 2) 退学願の許可について 3) 復学願の許可について 4) 2015年度非常勤講師の委嘱変更について 5) 2016年度非常勤講師の委嘱および委嘱取消について 6) 履修規程の一部改正について 2. 報告事項 1) 2015年度卒業証書・学位記授与式実施要領(案)について 2) 2016年度学事暦の一部変更について 3) 2015年度2月以降の宗務行事予定について 4) 2015年度海外研修旅行の実施について 5) 委員会報告 6) 2016年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について
臨時	2016年2月16日(火)	1. 審議事項 1) 2016年度一般入学試験(看護学科)の可否判定について 2. 報告事項 なし
臨時	2016年2月23日(火)	1. 審議事項 1) 2016年度 大学入試センター試験利用入学試験(看護学科・栄養学科)の可否判定について 2) 休学願の許可について 3) 復学願の許可について 4) 2016年度科目等履修生の受入れについて 5) 2016年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 専任教員の新規担当科目について
臨時	2016年3月1日(火)	1. 審議事項 1) 2015年度卒業判定について 2) 2015年度教職課程修了判定について 3) 2017年度学事歴について 2. 報告事項 1) 『「2014年度学生生活についての調査報告書」に対する天使大学としての回答』について 2) 教務部長の辞任について 3) 教務部長の任命について 4) 研究科長等の内定について



回	開催年月日	審議・報告事項
12	2016年3月17日(水)	1. 審議事項 1) 2015年度進級判定について 2) 2016年度既修得単位の認定授与について 3) 2016年度非常勤講師の委嘱取消について 4) 学生の懲戒処分(案)について 5) 退学願の許可について 6) 履修規程の一部改正について 2. 報告事項 1) 2016年度入学式実施要領(案)について 2) 研究費に関する規程の一部改正について 3) 特別研究費審査委員会規程の一部改正について 4) 2016年度学事歴(決定版)について 5) 2015年度定期試験に関するアクシデント等について 6) 出会いと親睦のゼミについて 7) 2015年度就職決定状況(2016年3月15日現在)について 8) 委員会報告 9) 教員人事について 10) 2016年度校務分掌(委員会委員長等)について 11) 規程改正について

看護栄養学研究科研究科委員会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2015年4月8日（水）	1. 審議事項 1) 2015年度開講科目及び担当教員について 2. 報告事項 1) 2015年度研究科委員会構成員について 2) 2015年度研究科委員会開催予定について 3) 2014年度事業報告及び活動のまとめについて 4) 2015年度看護学専攻研究計画書発表会の実施について
2	2015年5月12日（火）	1. 審議事項 1) 2015年度看護学専攻開講科目について 2) 2015年度看護学専攻学位論文研究計画書の審査について 3) 2015年度看護学専攻特任教員担当科目について 4) 天使大学大学院看護栄養学研究科ホスピス緩和ケアセミナーについて 5) 2016年度大学院看護栄養学部看護学専攻保健師コース入学試験について 2. 報告事項 1) 2015年度入学性の研究指導教員について 2) 2015年度非常勤講師の委嘱取消について 3) 2015年度開講科目及び担当教員について（一部訂正） 4) 天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻の保健師課程及び専門看護師38単位教育課程の申請
3	2015年6月9日（火）	1. 審議事項 1) ホスピス緩和ケア看護専門看護師課程38単位申請について 2) 2016年度看護栄養学研究科学生募集要項について 3) 2015年度非常勤講師の委嘱変更について 2. 報告事項 1) ホスピス緩和ケアセミナーについて 2) 栄養管理学専攻博士前期2年次生の研究指導員の変更について
4	2015年7月14日（火）	1. 審議事項 1) 天使大学学位規程の一部改正（案）について 2) 天使大学学位取得に関する最速の一部改正（案）について 2. 報告事項 なし
5	2015年8月4日（火）	1. 審議事項 1) 休学願の許可について 2) 看護栄養学研究科入学試験成績開示 2. 報告事項 1) 2015年度非常勤講師の委嘱取消について 2) 栄養管理学専攻博士前期課程院生の研究指導の一部委託について
臨時	2015年9月8日（火）	1. 審議事項 1) 2016年度天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻（保健師コース）学生募集要項について 2) 2016年度天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻（保健師コース）入試日程について 2. 報告事項 なし
6	2015年9月24日（水）	開催せず
7	2015年10月6日（火）	1. 審議事項 1) 2015年度栄養管理学専攻博士後期課程学位論文研究計画書の審査について 2. 報告事項 1) 2015年度看護学専攻学位論文研究計画書発表会並びに 栄養管理学専攻博士後期課程学位論文中間発表会の実施について 2) 2016年度の長期履修学生の入学手続きについて
臨時	2015年10月20日（火）	1. 審議事項 1) 2016年度看護学専攻（保健師コース）一般入学試験（前期）合否判定について 2. 報告事項 1) 2015年度天使大学大学院FD研修会実施について
8	2015年11月10日（火）	1. 審議事項 1) 2015年度 看護学専攻 学位論文研究計画書の審査について 2) 2017年度 入学試験日程について 2. 報告事項 1) 2016年度看護学専攻（保健師コース）一般入学試験（前期）合格発表に関するミスについて

回	開催年月日	審議・報告事項
9	2015年12月1日（火）	1. 審議事項 1) 天使大学大学院運営会議規程の一部改正（案）について 2) 天使大学大学院科目等履修生規程の一部改正（案）について 3) 天使大学大学院委託生に関する規程の一部改正（案）について 4) 天使大学大学院研究生に関する規程の一部改正（案）について 5) 天使大学大学院長期履修学生規程の一部改正（案）について 6) 特別の課程の履修証明制度に関する規程の一部改正（案）について 7) ティーチング・アシスタント規程の一部改正（案）について 8) 2016年度非常勤講師の委嘱について 9) コース名、区分名、科目名の英語表記について 10) 2016年度学事暦（案）について 2. 報告事項 1) 専任教員の新規担当科目について 2) 2016年度以降の成績の表示について
10	2016年1月13日（水）	1. 審議事項 1) 履修規定の一部変更 2) 2016年度カリキュラム改正による科目の単位の互換について 3) 2016年度非常勤講師の委嘱について 4) 栄養管理学新規科目の英語表記について 5) 2015年度看護学専攻修士論文・課題研究論文の主査・副査について 2. 報告事項 1) なし
臨時	2016年1月27日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度看護学専攻修士課程後期試験の合否判定について 2) 学則の一部変更 3) 履修規定の一部変更 4) 論文博士英語試験の合否判定について 2. 報告事項 1) なし
11	2016年2月10日（水）	1. 審議事項 1) 退学願の許可について 2) 2016年度非常勤講師の委嘱取消について 3) 履修規定の一部改正について 4) 新規科目、区分等の英語表記について 2. 報告事項 1) なし
臨時	2016年2月23日（火）	1. 審議事項 1) 学則の一部変更について 2) 履修規程の一部変更 2. 報告事項 1) なし
臨時	2016年3月1日（火）	1. 審議事項 1) 2015年度修了判定について 2) 非常勤講師の委嘱取消について 2. 報告事項 1) 2015年度看護学専攻学位論文審査報告書について 2) 専任教員の新規担当科目について

助産研究科教授会

回	開催年月日	審議・報告事項
1	2015年4月9日（水）	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 2015年度学校医・精神神経科医について 2) 2015年度合唱コンクール実施について 3) 2015年度校務分掌・委員会構成について 4) 2015年度助産研究科教授会構成員について 5) 2015年度学園・大学事業計画及び当初予算について
2	2015年4月23日（木）	1. 審議事項 1) 退学願の許可について 2. 報告事項 なし
3	2015年5月13日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度 助産研究科学生募集要項について 2. 報告事項 1) 2015年度前期宗務行事予定について
4	2015年6月10日（金）	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 2014年度学校法人天使学園・天使大学事業報告および会計収支決算について 2) 2014年度学校法人天使学園・天使大学監事監査報告について
5	2015年8月26日（水）	1. 審議事項 なし 2. 報告事項 1) 人事方針について 2) 2015年度後期宗務行事予定について
臨時	2015年9月16日（水）	1. 審議事項 1) 2015年度助産教育分野の修了判定について 2. 報告事項 なし
6	2015年9月28日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度助産基礎分野推薦入学試験の合否判定について 2. 報告事項 1) 2015年度避難訓練アンケートの調査結果について
7	2015年10月14日（水）	1. 審議事項 1) 2015年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) 教職員修養会の日程について
8	2015年10月21日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度助産基礎分野前期試験（一般入学試験及び社会人入学試験）並びに助産教育分野入学試験前期試験の合否判定について 2. 報告事項 なし
9	2015年11月18日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度以降の授業評価アンケートについて 2) 2016年度非常勤講師の委嘱について 2. 報告事項 1) クリスマス関連の行事予定について 2) 教職員修養会の日程・内容等について 3) 2016年度会議日程〔予定〕（第2次案）について
10	2015年12月9日（水）	1. 審議事項 1) 天使大学大学院運営会議規程の一部改正（案）について 2) 天使大学大学院科目等履修生規程の一部改正（案）について 3) 天使大学大学院委託生に関する規程の一部改正（案）について 4) 天使大学大学院研究生に関する規程の一部改正（案）について 5) 特別の課程の履修証明制度に関する規程の一部改正（案）について 6) 2017年度助産研究科入学試験日程について 7) 退学願の許可について 2. 報告事項 1) 2015年度FD研修会の開催について 2) 2016年度導入予定の事務システムについて 3) 2016年度予算編成方針について
臨時	2016年1月13日（水）	1. 審議事項 1) 特任教員の雇用契約の更新について 2) 臨床専任教員の雇用契約の更新について 3) 天使大学研究費に関する規程の一部改正（案）について 4) 天使大学特別研究費審査委員会規程の一部改正（案）について 5) 研究科長等の選考について 2. 報告事項 1) 2015年度年報の作成および活動報告会の開催について

回	開催年月日	審議・報告事項
11	2016年1月27日（水）	1. 審議事項 1) 2016年度助産基礎分野後期試験（一般入学試験、社会人入学試験）および助産教育分野後期試験の可否判定について 2) 退学願の許可について 3) 2016年度 非常勤講師の委嘱について 4) 2016年度天使大学大学院助産研究科学事暦（案）について 5) 助産教育分野に係る2015年度以降入学生対象の教育科目の英語名称について 6) 休学願の許可について 2. 報告事項 1) 台風・暴風雨・暴風雪等の警報発令時の休講措置の変更について
12	2016年2月17日（水）	1. 審議事項 1) 退学願の許可について 2) 天使大学大学院 研究生期間延長願について 2. 報告事項 1) 2015年度 卒業証書・学位記授与式実施要領（案）について 2) 2015年度2月以降の宗務行事予定について
臨時	2016年3月2日（水）	1. 審議事項 1) 2015年度 修了認定について 2. 報告事項 なし
臨時	2016年3月14日（水）	1. 審議事項 1) 教員人事について 2. 報告事項 なし
13	2016年3月16日（水）	1. 審議事項 1) 休学者の許可について 2) 退学者の許可について 3) 2016年度授業科目開講期の一部変更について 4) 2016年度授業科目担当者について 5) 天使大学大学院校務分掌規程の一部改正（案）について 6) 天使大学大学院臨床専任教員内規の一部改正（案）について 7) 再入学に関する規程について 2. 報告事項 1) 2016年度入学式実施要領（案）について 2) 教員人事について

## XII. 委員会構成一覽

### 2015年度 校務分掌 委員会構成一覽

教育研究評議会	学長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、図書館長、宗務部長、教務部長、学生部長、事務局長 助産研究科教務委員長
---------	---

◎学部設置の委員会等

看護学科長 前田明子	栄養学科長 山部秀子	教養教育課長 川口雄一
------------	------------	-------------

区分	委員会名	委員長	委員	人数	委員任期	担当事務局
常設	教務委員会	菅原	教務部長：菅原 看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、教職課程委員長 看護：大野 栄養：西 教養：日時	8	2年	学務課
	学生委員会	久保	学生部長：久保 看護：澤田・高橋 栄養：金澤・岩淵 教養：田島	6	2年	学務課
	宗務委員会	小原	宗務部長：小原 看護：佐藤・ケン・スレイマン 栄養：勝野・松下 教養：(小原) 助産：今崎 事務局：菊池・本田	9 (8)	2年	学務課
設置	図書情報委員会	大久保	図書館長：大久保 看護：柴田・前田(朝) 栄養：清水・岡部 教養：堀井 助産：佐々木 図書情報課長	8	2年	図書情報課
	入試委員会	荒川	看護学科長、栄養学科長、教養教育科長 入試・広報室長 看護：針金 栄養：荒川・西 教養：(川口)	8 (7)	2年	入試広報室
	広報委員会	鈴木	看護：草薙・鶴木 栄養：鈴木・岡部・吉田 教養：小原 入試・広報室長	7	2年	入試広報室
委員会	自己点検評価委員会	荃津	看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、事務局長 看護：荃津 栄養：金澤 教養：(川口) 助産：(園生)	10 (8)	2年	総務課
	F D 委員会	田島	看護：荒井 栄養：高桑 教養：田島・小原 助産：本宿	4	2年	総務課
	学術振興委員会	高島	看護：荒井 栄養：荒川・高島 教養：堀井 助産：小林	5	2年	図書情報課
員	地域連携等委員会	山口	看護：若山 栄養：山口・長谷川 教養：田島 助産：津田	5	2年	学務課
	就職委員会	清水	看護：佐藤 栄養：清水・百々瀬 教養：新井	4	2年	学務課
	教職課程委員会	伊藤	教職科目担当：伊藤・山部・百々瀬・岩淵・新井	5	2年	学務課
会	研究倫理委員会	堀井	助産研究科長、看護栄養学研究科長 看護：伊藤(治) 栄養：佐藤 教養：堀井 学長指名：吉田(礼)・下田	8 (7)	2年	財務室
	キャンパス・ハラスメント委員会	久保	学生部長、看護：谷 栄養：(久保) 教養：伊藤 助産：本宿 事務局長 職員：平野	7 (6)	2年	総務課
	病原体等安全管理委員会	高島	専門：高島・岩淵 感染予防：武蔵 学校医：大久保	4	2年	財務室
特設	学生懲戒委員会	その都度	学生部長、看護： 栄養： 教養： 助産：	5	2年	学務課
	個人情報保護委員会	その都度	助産研究科長、看護栄養学研究科長、看護学科長、栄養学科長、教養教育科長、教務部長、事務局長	7	2年	総務課
時限設置	カリキュラム検討委員会	武蔵	学長 看護学科長 栄養学科長 教養教育課長 教務部長 学長氏名：看護 大野 栄養 山口 教養 小原 学務課 松田 事務局次長	10	2年	総務課
	看護福祉学研究科課程増設等検討委員会	武蔵	学長 助産研究科長 看護栄養学研究科長 看護専攻主任 栄養専攻主任 学長氏名：看護 * 菅原 栄養 下田 学務課 松田 事務局次長	10	2年	総務課
看護：学生支援教員			1年：◎荃津・吉田・柴田・澤田・前田(朝)・小澤・矢萩 2年：◎谷・菅原・伊藤・田中・富川・新関・横山 3年：◎針金・佐藤・臺野・鶴木 4年：◎荒井・大野・草薙・高橋・若山			
栄養：学生支援教員			1年：◎百々瀬・勝野・西・岩淵・古川 2年：◎金澤・久保・高島・岡部・高桑・村尾 3年：◎鈴木・下田・山口・峯岸・松下・和田 4年：◎吉田・荒川・大久保・清水・長谷川・白幡			
学長直轄プロジェクト	震災復興支援プロジェクト	リガー 日時	看護：小澤・矢萩 栄養：百々瀬・高桑 事務局：高山・西村・松田			
	ヘルスケア実践開発プロジェクト	リガー 山口	看護：菅原 谷 富川 栄養：山口 清水 百々瀬			
後援会講演ワーキング			看護：荒井・臺野 栄養：峯岸・松下 教養：田島 事務局：総務課			

大学院看護栄養学研究科の科長・専攻主任

研究科長：大久保 岩男	看護学専攻主任：吉田 礼維子	栄養管理学専攻主任：佐藤 香苗
-------------	----------------	-----------------

◎ 大学院助産研究科の科長・委員会等

研究科長：園生陽子			
区分	委員会等名	委員長等	委員
常設機関	運営会議	学長	研究科長、教授職
	研究科会議	研究科長	研究科員
	教務委員会	園生	(講義基礎)津田 (講義教育)園生 (実習)本宿 (学生・就職)今崎
	入試広報委員会	津田	園生、本宿、今崎

◎ 理事会設置の委員会

区分	委員会名	委員長	委員	人数	任期	担当事務局	
常 設 機 関	運営連絡会	理事長	学長、副理事長（2名）、常務理事（総務担当理事）、財務担当理事、カトリックセンター長、看護栄養学研究科長、助産研究科長、看護学科長、栄養学科長、宗務部長、監事：土産田 学内評議員：菅原、大久保、園生、佐保	17 (14)	1年	総務課	
	将来構想委員会	理事長	学長、総務担当理事、財務担当理事、宗務部長、図書館長、研究科長(2)、看護学科長、 栄養学科長、教養教育科長、事務局長、教職員で理事・評議員：菅原、大久保、園生	13			
	苦情処理 委員会	委員	互選	理事長指名：教員＝ 職員： 教授会選考： ・ 職員会議選考：			7
		代理委員	その都度互選	理事長指名：教員＝ 職員： 教授会選考： ・ 職員会議選考：			5
	懲戒委員会	理事長指名	理事長が任命する5名	5			
	ハラスメント防止委員会	互選	(理事)小川、原、松岡、菅原 (教員)前田(明)、堀井 (職員)：白石	7			
	個人情報保護委員会	互選	理事長、学長、常務理事、理事(理事会選出)：菅原、事務局長	5			
衛生委員会	学長	産業医：辻崎正幸(天使病院)、看護：若山 栄養：山部 教養：田島 事務局長 事務局：豊島 (保健師)加藤	7	財務室			
カトリックセンター	理事長任命	センター長：小原 カトリック司祭、常務理事、宗教教育担当者	4 (3)	2年	学務課		

XIII. 委員会の活動報告

2015年度 教務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：菅原邦子 委員長（2016.2.25～3.31）：川口雄一 委員：前田明子・山部秀子・川口雄一・伊藤進・大野和美・西 隆司・目時光紀</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>14回 臨時 5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休学願・復学願・退学願の許可について</li> <li>・非常勤講師の委嘱・変更・取消について（当該年度及び次年度）</li> <li>・実習指導教員の委嘱・変更・取消について（当該年度及び次年度）</li> <li>・既修得単位の認定・授与について（当該年度及び次年度）</li> <li>・特別講師の委嘱・取消について（当該年度及び次年度）</li> <li>・定期試験・評価日程について（前期及び後期）</li> <li>・専任教員の新規担当科目について（当該年度及び次年度）</li> <li>・開講科目における学期変更等について（当該年度及び次年度）</li> <li>・既修得単位の認定・授与について（当該年度及び次年度）</li> <li>・学事暦の変更について（当該年度及び次年度）</li> <li>・2016年度学事暦シュミレーション</li> <li>・2016年度学事暦について</li> <li>・2016年度講師会について</li> <li>・1年次から2年次進級時の単位未修得学生への対応について</li> <li>・追実習願の許可について</li> <li>・2015年度時間割の変更について</li> <li>・看護学科2016年度改正カリキュラム（案）について</li> <li>・進級にかかわる対応について</li> <li>・成績評価の表し方について</li> <li>・学則の一部改正について</li> <li>・履修規程の一部改正について</li> <li>・看護学科2.3学生の臨地実習科目の履修判定について</li> <li>・教職課程科目の一部土曜開講について</li> <li>・教務委員会日程の変更について</li> <li>・栄養3年次生の後期臨地実習履修判定について</li> <li>・2016年度時間割編成のガイドライン、編成条件について</li> <li>・学生生活についての調査報告書の改善要求に対する回答について</li> <li>・定期試験追・再試験監督担当（案）について</li> <li>・2016年度在学生ガイダンスについて</li> <li>・台風に伴う暴風警報発令時の休講措置等について</li> <li>・新システム導入にかかる成績の表示について</li> <li>・2016年度以降栄養学科の履修要件の改正について</li> <li>・2016年度・履修要項・授業概要の修正・加筆について</li> <li>・履修規程の一部改正（案）について</li> <li>・公衆衛生学実習の休講・補講について</li> <li>・学生の授業代理出席について</li> <li>・2016年度時間割（案）について</li> <li>・教職課程の修了判定について</li> <li>・卒業判定について</li> <li>・進級判定について</li> <li>・科目等履修生の受入れについて</li> <li>・2016年度出会いと親睦のゼミについて</li> <li>・2017年度入学式等学事暦案について</li> <li>・新入生の学籍番号付番とクラス分けについて</li> <li>・看護学実習・成績評価に関する外部委員会報告書について</li> </ul>	



[主な報告事項]

- ・ 看2学生 再履修科目「形態機能学Ⅱ」の授業展開について
- ・ 教務委員会活動計画・予算について
- ・ 栄養学科学生の進級に関わる対応について
- ・ 1年次復学学生の読み替え科目について
- ・ 卒業要件を満たしていない栄養学科3年次生について
- ・ 出会いと親睦のゼミアンケート結果について
- ・ 履修ガイダンスアンケート結果について
- ・ 履修者数について
- ・ 聴講者数について
- ・ 教職課程履修者数について
- ・ 履修届遅延者数報告
- ・ 2014年度成績優秀者について
- ・ 講師会まとめ
- ・ 看護学科4年次「看護倫理」講義日程変更について
- ・ 土曜開講日予定表
- ・ 保証人への成績通知について
- ・ 授業評価アンケート報告書について
- ・ 実習指導教員の委嘱について一部訂正
- ・ 栄2学生の病欠への対応について
- ・ GPA制度導入にかかる情報提供
- ・ 前期定期試験アクシデントについて
- ・ 追試験の許可について
- ・ 追試験の再試験実施について
- ・ 2015年度後期栄養学科学生の再履修科目での時間重複授業の変更について
- ・ 2016年度「オーラルイングリッシュ1A」「オーラルイングリッシュ1B」の担当クラス変更について
- ・ 教務システムバージョンアップ、ユニバーサルパスポートの導入について
- ・ 教職課程履修取消者について
- ・ 後期開講科目受講者数について
- ・ 聴講・他学科履修希望者数について
- ・ 私大協教務部課長相当者研修会について
- ・ 2016年度新入生オリエンテーションについて
- ・ 2016年度活動計画について
- ・ 2016年度予算（案）について
- ・ 台風・暴風雨・暴風雪等の警報発令時の休講措置について
- ・ 履修要項・授業概要の冊子体の廃止について
- ・ 2016年度履修要項・講義概要の作成日程について
- ・ 2015年度特別講師の委嘱について
- ・ 2016年教務委員会活動御計画について
- ・ 2016年度予算について
- ・ 2016年度出講案内について
- ・ ユニバーサルパスポート導入にかかる定期試験評価日程等について
- ・ 後期試験のアクシデントについて
- ・ 追試験、再試験該当者数報告

2015年度 学生委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：久保ちづる 委員：澤田優美、高橋順子、金澤康子、岩渕絵里子、田島忠篤</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度役割分担について</li> <li>・2015年度委員長不在時の委員長代理について</li> <li>・2015年度合唱コンクールについて</li> <li>・2015年度海外研修について</li> <li>・「海外で活躍する卒業生からの講話(7/7)」について</li> <li>・「2014年度学生生活についての調査報告書」について</li> <li>・「2014年度学生生活についての調査報告書」の回答書について</li> <li>・体育祭の施設巡回について</li> <li>・「学生への感染防止のための検査」について</li> <li>・学内規程(学生委員会関連)改正作業について</li> <li>・ロッカー室の改善について</li> <li>・2016年度活動計画書について</li> <li>・2016年度予算案について</li> <li>・2016年度アッセンブリー・アワープログラムについて</li> <li>・2016年度学校医(内科医・精神神経科医)の委嘱について</li> <li>・2015年度自己点検評価について</li> <li>・危機管理マニュアルについて</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年度海外研修旅行実施報告について</li> <li>・合唱コンクール実施報告について</li> <li>・天使祭実施報告について</li> <li>・「学生食堂への要望意見交換会」について</li> <li>・2014年度学生相談室・保健相談室活動報告書について</li> <li>・カーリングチーム red WINS に所属する本学学生について</li> <li>・後期オフィスアワーについて</li> <li>・補正予算申請について</li> <li>・葦の会選挙の実施について</li> <li>・2016年度学生生活ガイドブックについて</li> <li>・体育祭実施報告について</li> <li>・学生総会進捗状況について</li> <li>・「葦の会」の献金について</li> <li>・葦の会役員「リーダー研修会」について</li> <li>・葦の会役員と学生委員会の交流会について</li> <li>・卒業生への記念品について</li> <li>・萌芽について</li> <li>・保健相談室報告</li> <li>・学生相談室報告</li> </ul>	

2015年度 宗務委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：小原琢          委員：ケン・スレイマン、佐藤昇子、勝野由美子、松下真美、今崎裕子          菊池史恵、本田英里          学務課（～2015年4月30日：堀切、2015年5月1日～：渡邊）</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回（2016年1月27日現在）</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イースターの集い</li> <li>・聖堂の生花</li> <li>・カトリック医療関連学生セミナー</li> <li>・ギデオン教会の聖書</li> <li>・毎週のミサ</li> <li>・前期修了・卒業感謝のミサ</li> <li>・クリスマス関連の日程</li> <li>・クリスマスの集い</li> <li>・クリスマス献金</li> <li>・死者追悼のミサ</li> <li>・教職員修養会</li> <li>・「2014年度 学生生活についての調査報告書」の改善要求項目に対する回答書</li> <li>・宗務委員会規程の改正作業</li> <li>・2015年度宗務委員会予算</li> <li>・新年のミサ</li> <li>・退職される教職員のための感謝ミサ</li> <li>・修了・卒業感謝のミサ</li> <li>・年報、自己点検評価報告書</li> <li>・灰の儀式</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出会いと親睦のゼミ</li> <li>・学部教授会、助産研究科教授会、教育研究評議会 提案書</li> <li>・宗務委員会の職員交代</li> <li>・JCNA（カトリック看護師）札幌 ミサ</li> <li>・教職員修養会</li> <li>・カトリック医療関連学生セミナー</li> <li>・修了・卒業感謝のミサ</li> <li>・毎週のミサ</li> <li>・チャペルアワー</li> <li>・宗務委員会規程の改正作業</li> <li>・修養会</li> <li>・屋外クリスマスツリーのイルミネーション</li> <li>・クリスマスオリエンテーション</li> <li>・新年のミサ</li> <li>・2016年度活動計画書、予算見積書</li> </ul>	

2015年度 図書館情報委員会活動報告

委員会組織	委員長：大久保岩男 委員：柴田和恵、前田朝子、清水真理、岡部哲子、堀井泰明、 佐々木恭子、平野敦子 計8名
委員会開催数	10回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後援会助成図書第1回～第9回選定について</li> <li>・2015年度活動計画及び図書資料費予算配分額について</li> <li>・インターネット動画の講義使用について</li> <li>・天使祭一般開放時の企画について      ・天使祭期間中の図書館及び情報処理室の利用について</li> <li>・2015年度後期開閉館予定表(案)について</li> <li>・メディカルオンラインライブラリーの無料トライアルについて      ・無料トライアルの結果報告</li> <li>・Adobe Flash Player の更新について</li> <li>・本学試験期間中の学外利用制限(休止)について</li> <li>・Science Direct 提案の契約意向調査について      ・2016年洋雑誌の継続購読及び新規購入について</li> <li>・EBSCO のMEDLINE 及びCINAHL Complete 版の無料トライアル      ・左記 Complete 版等無料トライアルの結果</li> <li>・2015年度秋の文献検索ガイダンス実施について</li> <li>・看護学科2014年度末カリキュラム評価アンケートからの意見について</li> <li>・機関リポジトリの今後について</li> <li>・看護学科学生からの要望：①国試対策図書の図書館展示      ②事例研究文献複写代の公費処理                  ③メディカルオンラインの導入希望      ④キャップ付ペットボトルや水筒の図書館持ち込み</li> <li>・2014年度学生生活調査報告に基づく改善要求について</li> <li>・委員会規程等の改正について</li> <li>・学生連絡用のメーリングリストについて</li> <li>・2016年度図書館および情報処理室活動計画(案)      ・2016年度図書館および情報処理室予算(案)</li> <li>・2016年度図書資料費予算配分(案)      ・2016年度前期開閉館予定表(案)</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年度蔵書点検結果報告</li> <li>・2014年度図書資料費執行状況(結果報告)      ・2015年度図書資料費執行状況(毎回)</li> <li>・受贈図書の選定：2015年4月23日(木)～5月25日(月)</li> <li>・事務局の5月1日付異動について      ・2015年度図書館情報課職員体制について</li> <li>・天使祭の一般開放について(報告)</li> <li>・北海道地区私立大学図書館協議会第2回業務研究会の本学開催について</li> <li>・第65回北海道地区大学図書館協議会総会 日時：2015年8月21日(金) 会場：札幌大谷大学</li> <li>・文献管理ツールENDNOTE X7(ユサコ)及びMENDELEY(エルゼビア)の紹介について</li> <li>・ENDNOTE セミナーの開催について：2016年3月10日(木)・11日(金)14時～ 6101講義室</li> </ul>	

2015年度 入試委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：荒川 義人                  委員：前田 明子、山部 秀子、川口 雄一、針金 佳代子、西 隆司、鈴木 敏郎                  計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>14 回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016 年度学生募集要項（学部・指定校推薦入学試験・栄養学科編入学試験）について</li> <li>・2016 年度入学試験出題者について</li> <li>・一般入学試験学科試験へのマークシートの導入について</li> <li>・2016 年度 推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験について</li> <li>・2016 年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験について</li> <li>・2016 年度大学入試センター試験について</li> <li>・合否判定基準について</li> <li>・東日本大震災に被災した受験者への対応について</li> <li>・2017 年度入学試験の日程について</li> <li>・公募制推薦・社会人入学試験、栄養学科編入学試験の小論文試験問題について</li> <li>・入試・広報室関係の文書の保管・廃棄について（案）</li> <li>・個人面接試験について</li> <li>・小論文試験について</li> <li>・本学 web サイトおよび合格発表収容サーバの仕様変更について</li> <li>・指定校推薦入学試験制度について</li> <li>・所管規程の改正について</li> <li>・2016 年度一般入学試験学科試験 得点調整について</li> <li>・2016 年度一般入試、センター利用入試 追加合格者について</li> <li>・2016 年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験 合否判定について</li> <li>・2016 年度一般入学試験栄養学科合否判定について</li> <li>・2016 年度一般入学試験看護学科合否判定について</li> <li>・2016 年度大学入試センター試験利用入学試験（看護学科・栄養学科）合否判定について</li> <li>・2016 年度推薦入学試験、社会人入学試験、栄養学科編入学試験の点検評価について</li> <li>・2016 年度一般入学試験、大学入試センター試験利用入学試験、大学入試センター試験の点検評価について</li> <li>・2015 年度入学試験 「今後の課題・対応」の達成状況について</li> <li>・2016 年度入試委員会 活動計画について</li> <li>・2016 年度入試委員会予算について</li> <li>・入試に関する「不測の事態」等の危機管理体制について</li> <li>・追加合格決定のプロセスについて</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試センター試験の手当について</li> <li>・2015 年度入試問題の著作権処理について</li> <li>・「2016 年度入学試験における感染症（インフルエンザ等）への対応」の web を通した告知について</li> <li>・推薦入試合格者の入学手続遅延に関する相談について</li> <li>・天使大学入試結果の傾向分析について</li> </ul>	

2015年度 広報委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：鈴木純子                  委員：草薙美穂、鶴木恭子、岡部哲子、吉田真弓、小原琢、鈴木敏郎                  計7名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>9回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度役割分担について</li> <li>・2015年度進学相談会、校内ガイダンスについて</li> <li>・2015年度高校訪問について</li> <li>・2015年度出張講義について</li> <li>・2015年度オープンキャンパスについて（第1回・第2回・第3回）</li> <li>・2015年度オープンキャンパスの反省について（第1回・第2回・第3回）</li> <li>・オープンキャンパス時の参加者保険について</li> <li>・2015年度広報活動のための学内勉強会について</li> <li>・2016 天使大学パンフレットについて</li> <li>・2015年度大学院看護栄養学研究科の広報計画について</li> <li>・大学院看護栄養学研究科パンフレットについて</li> <li>・本学学生への大学院説明会について</li> <li>・広報委員会の定例化について</li> <li>・星火塾クッキー（天使のクッキー）について</li> <li>・「食を考える協議会」が開発した「クッキー」の包装袋について</li> <li>・全国進学指導研究大会（北海道大学）協賛広告について</li> <li>・萌芽について</li> <li>・2015年度大学院説明会の反省について</li> <li>・学生による広報支援制度企画案</li> <li>・高校からの授業体験・見学について</li> <li>・学外者の本学見学（高校生・中学生の学校訪問）時の学生ボランティア募集について</li> <li>・学報（vol. 21）の構成について</li> <li>・学報の内容変更について</li> <li>・志願促進 DM について</li> <li>・クリスマスカードについて</li> <li>・所管規程の改正について</li> <li>・2016年度広報活動について</li> <li>・創立記念日の SNS の発信について</li> <li>・2016年度 広報委員会 予算について</li> <li>・2017年度大学案内について</li> <li>・2016年度オープンキャンパスについて</li> </ul>	

[主な報告事項]

- ・2015年度広報委員会 活動計画書（学部・看護栄養学研究科）について
- ・2015年度広報委員会予算について
- ・新入生アンケートについて
- ・オープンキャンパスちらし・ポスターの送付について
- ・広報活動のための資料集の改訂について
- ・大学案内パンフレットの進捗状況について
- ・取材時の写真撮影対応について
- ・出張講義・校内ガイダンスについて
- ・2015年度 高校訪問の分担について
- ・職員学校訪問勉強会の実施
- ・マスメディアへの対応について
- ・広報委員会の役割分担結果について
- ・学報について
- ・新入生アンケート結果について
- ・天使大学ホームページについて
- ・アッセンブリー・アワー大学院説明会栄養管理学専攻実施報告（6/16）
- ・広報用「クッキー」について
- ・オープンキャンパス時の参加保険について
- ・広報用「クッキー」について
- ・入試・広報室関係の文書の保管・廃棄について
- ・中学生学校訪問の報告（終了分）
- ・大学院入試情報の掲載広告の件
- ・大学院入試関連の件
- ・出張講義・進学相談会・校内ガイダンス・高校訪問等について
- ・予算の件
- ・大学院広報活動の件
- ・2017年度大学案内パンフレット進捗状況

2015年度 自己点検評価委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：荃津智子                  委員：園生陽子、大久保岩男、前田明子、山部秀子、川口雄一、金澤康子、                  佐保末男</p> <p style="text-align: right;">計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>5回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度活動方針・活動内容について</li> <li>・2014年度年報の作成について</li> <li>・大学基準協会改善報告書について</li> <li>・教員業績システムについて</li> <li>・自己点検評価委員会の規程改正について</li> <li>・2015年度活動報告会について</li> <li>・2015年度年報作成について</li> <li>・2016年度活動計画及び予算について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度予算について</li> <li>・大学基準協会改善報告書の受理について</li> <li>・学内自己点検評価システムのあり方について</li> <li>・教員業績情報システムについて</li> </ul>	



2015年度 FD委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：田島忠篤 委員：荒井春生、高桑暁子、小原琢、本宿美砂子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2016年度以降の授業評価アンケートについて</li> <li>・FD研修会について</li> <li>・研修会の参加について</li> <li>・ファカルティ・ディベロップメントに関する規程の改訂案について</li> <li>・2016年度活動計画案について</li> <li>・2016年度予算案について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度の活動計画と予算について</li> <li>・2015年度の学生による授業評価アンケート実施について</li> <li>・2016年度以降の授業評価アンケートの教授会提案結果について</li> <li>・2016年度予算決定スケジュールについて</li> </ul>	

2015年度 学術振興委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：高島郁夫 第10回委員長代理：荒川義人 委員：荒井春生、荒川義人、堀井泰明、小林由希子 計5名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度活動計画について</li> <li>・2015年度前期研究報告会について ・前期研究報告会のプログラムについて</li> <li>・2015年度講演会の企画について</li> <li>・2015年度前期講演会について ・前期講演会報告</li> <li>・研究のための「よろず相談」について</li> <li>・査読に対する回答要領(案)について ・査読に対する回答チェック項目(案)について</li> <li>・研究のための「よろず相談」について</li> <li>・研究に関するアンケート調査(案)について ・研究に関するアンケート調査の結果について</li> <li>・2015年度後期講演会について ・2015年度後期講演会報告</li> <li>・2015年度後期研究報告会のプログラムについて</li> <li>・学術振興委員会規程及び紀要投稿規程について</li> <li>・2016年度活動計画(案)について</li> <li>・2016年度予算(案)について</li> <li>・紀要第16巻第2号の応募状況と再募集の可否について</li> <li>・紀要第16巻第1号掲載可否判定について ・第三査読者への査読依頼について</li> <li>・紀要第15巻第2号投稿原稿の修正原稿提出期限延長について(査読者の承諾について)</li> <li>・2015年度年報：自己点検・評価報告について</li> <li>・紀要第三者査読の結果と最終判定について</li> <li>・紀要第15巻第2号投稿の査読後修正中断執筆者への対応について</li> <li>・次年度講演会講師の選考について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紀要第15巻第2号の投稿及び査読者について</li> <li>・紀要第16巻第1号の原稿募集について</li> <li>・紀要第16巻第1号の応募状況 ・紀要第16巻第1号投稿数について ・紀要第16巻第1号の発刊について</li> <li>・紀要第16巻第2号の原稿募集について ・紀要第16巻第2号投稿予定について</li> <li>・紀要第17巻第1号の原稿募集について</li> <li>・2014年度後期研究報告会参加者アンケート集計結果</li> <li>・2015年度前期研究報告会参加者アンケート集計結果</li> <li>・研究に関するアンケート調査の再案内について</li> </ul>	

2015年度 地域連携等委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：山口敦子 委員：若山好美・長谷川めぐみ・田島忠篤・津田万寿美</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>8回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座について</li> <li>・2015年度委員長不在時の委員長代理について</li> <li>・2015年度地域連携事業活動の把握と報告書について</li> <li>・2015年度北海道薬科大学との連携事業（連携公開講座・夕張地域医療体験）について</li> <li>・2015年度東区5者連携事業について</li> <li>・2015年度「ひがしく健康・スポーツまつり」について</li> <li>・2016年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座の実施案・ポスターについて</li> <li>・2016年度活動計画書案・予算案について</li> <li>・2015年度自己点検評価について</li> <li>・その他</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度活動計画および予算について</li> <li>・2015年度地域連携等委員会役割分担について</li> <li>・2015年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座進捗状況について</li> <li>・2015年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座実施・報告について</li> <li>・2015年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座意見交換会実施報告について</li> <li>・2015年度東区5者連携事業について</li> <li>・2015年度夕張地域医療体験について</li> <li>・2016年度天使大学・北海道薬科大学連携公開講座の実施案について</li> <li>・平成28年度道民カレッジ連携講座前期分申込、名義後援願について</li> <li>・2015年度地域連携事業活動報告書の提出について</li> <li>・2016年度予算ヒアリングについて</li> <li>・その他</li> </ul>	

2015年度 就職委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：清水真理 委員：佐藤昇子、百々瀬いづみ、新井英志</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>11回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度役割分担について</li> <li>・委員長不在時の委員長代理について</li> <li>・就職ガイダンスについて</li> <li>・就職相談室ニュース第1～3号の発行について</li> <li>・インターシップ活動及び報告届について</li> <li>・2014年度卒業生の離職調査について</li> <li>・卒業生用求職登録票について</li> <li>・就職相談室専用封筒について</li> <li>・就職相談室の設置場所変更要望について</li> <li>・学内規程の改正作業について</li> <li>・2016年度活動計画について</li> <li>・2016年度予算について</li> <li>・2015年度「就職活動と就職支援に関する調査」について</li> <li>・就職活動ガイドブック2016年度版の発行について</li> <li>・2016年度アッセンブリー・アワープログラムについて</li> <li>・2015年度自己点検評価について</li> <li>・病院・施設等の見学申込方法について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度活動計画及び予算内訳見積書について</li> <li>・2014年度管理栄養士国家試験不合格者の対応について</li> <li>・就職相談室報告について</li> <li>・2014・2015年度就職状況報告について</li> <li>・就職ガイダンス報告について</li> <li>・学内採用説明会報告について</li> <li>・求人訪問対応報告について</li> <li>・各種アンケートの回答について</li> <li>・出張関係について</li> <li>・教員採用検査のための1次直前ゼミ・2次対策ゼミ、第2次選考のための特別ゼミの実施状況について</li> <li>・教員採用試験対策春期ゼミの開催及び出席状況について</li> <li>・北海道・札幌市教員採用試験自己採点について</li> <li>・求人開拓パンフレット「JOB SEARCH」の作成について</li> <li>・学校インターンシップの実施状況について</li> <li>・インターシップ活動及び報告届について</li> <li>・2014年度就職先への礼状発送について</li> <li>・2014年度卒業生の離職調査送付及び調査結果について</li> <li>・就職相談室の設置場所変更要望書の提出について</li> <li>・学内規程の改正作業回答文書の提出について</li> <li>・就職支援システム導入進捗状況について</li> <li>・ハローワーク無料模擬面接について</li> <li>・日本語検定について</li> <li>・職業安定法の改正内容(中退者関係)の周知について</li> <li>・就職相談室資料整理のためのアルバイト募集について</li> <li>・求人依頼の発送について</li> <li>・就職活動ガイドブック2016年度版の校正について</li> <li>・2016年度予算見積内訳書について</li> </ul>	

2015年度 教職課程委員会活動報告

委員会組織	委員長：伊藤 進 委員：山部 秀子、新井 英志、岩淵 絵里子、百々瀬 いづみ
委員会開催数	6 回
審議・報告事項	
<p>[主な審議事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職課程履修3年次生への個別面談について</li> <li>2. 2015年度教職課程修了判定について</li> <li>3. 2016年度教育実習履修判定について</li> <li>4. 2016年度科目担当者及び非常勤講師について</li> <li>5. 2016年度特別講師について</li> <li>6. 2016年度新生オリエンテーションについて</li> <li>7. 2016年度予算及び活動計画書について</li> <li>8. 2016年度教職課程履修の手引について</li> <li>9. 2016年度履修要項・授業概要の作成について</li> <li>10. 履修カルテ等の取扱いについて</li> <li>11. 教員免許状更新講習の評価及び次年度の対応について</li> <li>12. 教職課程情報公表について</li> <li>13. 教職課程委員会規程の改正案について</li> <li>14. 教職課程履修の手引きについて</li> <li>15. 科目等履修生について（受け入れ）</li> <li>16. 北大農場実習について（単位化の検討）</li> </ol> <p>[主な報告事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教職課程履修取消者について</li> <li>2. 2015年度特別講師の委嘱に関する確認</li> <li>3. 履修カルテの配付対象科目の確認</li> <li>4. インターンシップ実施計画の報告</li> <li>5. 北大農場関係事業のお知らせ</li> <li>6. 教員免許申請手続について</li> <li>7. 2016年度栄養教育実習日程について</li> <li>8. 2016年度インターンシップについて</li> <li>9. 2016年度教育実習校の割り当てについて</li> <li>10. 2016年度教員採用試験について</li> <li>11. 教職課程春期ゼミナールについて（新4年生対象）</li> <li>12. 教職課程科目の一部土曜日開講について</li> </ol>	

2015年度 研究倫理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：堀井泰明 委員：園生陽子、大久保岩男、佐藤香苗、吉田礼維子、下田妙子、伊藤治幸</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書類提出締切日、審査の段取り、委員会開催日について</li> <li>・研究計画の倫理審査（審査件数38件、内、取り下げ3件）</li> <li>・国の新倫理指針に合わせた本委員会規程の改正について</li> <li>・倫理審査終了後の研究計画等の変更届について</li> <li>・2016年度予算（新規）について</li> <li>・2016年度活動計画について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学における研究計画の倫理審査手続きに関する説明会開催について</li> </ul>	

2015年度 キャンパス・ハラスメント対策委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：久保ちづる                  委員：伊藤 進、本宿美砂子、谷規久子、佐保末男、平野敦子                  計6名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>7回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度活動方針・活動内容について</li> <li>・講演会の開催について</li> <li>・啓発DVD上映会開催について</li> <li>・ガイドライン配布について</li> <li>・規程改正案について</li> <li>・2016年度活動計画書及び予算について</li> <li>・次年度予算案について</li> <li>・2015年度活動報告について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度予算について</li> <li>・2015年度相談窓口の周知について</li> <li>・講演会の参加状況について</li> </ul>	

2015年度 病原体等安全管理委員会活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：高島郁夫 委員：武藏学、大久保岩男、岩渕絵里子</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>1回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年報原稿について 提案通りで承認された。</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病原体分与報告 分与する菌株の運搬方法についての質問があり、本学ではバイオメディカルサイエンス研究会の「実験室バイオセーフティ指針」、国立感染症研究所の「病原体等安全管理規程」及び天使大学病原体等安全管理マニュアルに従い、運搬することとなっているが、本学で保管している菌株については文部科学省の調査対象となる病原体は保有していないため、今回の運搬では、通常通り三重包装後に直接譲渡している。</li> </ul>	



2015年度 東日本大震災復興支援プロジェクト活動報告

<p>委員会組織</p>	<p>委員長：目時光紀                  委員：小澤涼子、矢萩実幸、高桑暁子、百々瀬いづみ、高山美香、西村和奈                  松田ゆかり</p> <p style="text-align: right;">計8名</p>
<p>委員会開催数</p>	<p>10回</p>
<p>審議・報告事項</p>	
<p>[主な審議事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度天使祭への出店について</li> <li>・2015年度ボランティア活動報告会について</li> <li>・2015年度ボランティア助成金について</li> <li>・シンポジウムの開催について</li> <li>・プロジェクトの活動の委譲等について</li> <li>・ボランティア講習会について</li> <li>・ボランティア助成金業務の事務処理手続きについて</li> <li>・2015年度活動報告書について</li> <li>・ボランティアマニュアル：4月以降の取り扱いについて</li> <li>・プロジェクト掲示板：4月以降の取り扱いについて</li> <li>・2011年度-2015年度活動報告書：HPへのアップロードについて</li> <li>・プロジェクトHP：4月以降の取り扱いについて</li> <li>・2015年度年報（自己点検・評価報告書）の執筆について</li> <li>・「活動終了のお知らせ」について</li> </ul> <p>[主な報告事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度天使祭への出店について</li> <li>・2015年度ボランティア活動報告会について</li> <li>・ボランティア助成金申請のための領収書発行依頼を忘れた学生への対応について</li> <li>・掲示板の更新について</li> <li>・シンポジウムについて</li> <li>・ボランティア助成金業務の委譲について</li> <li>・ボランティア講習会について</li> <li>・ボランティア助成金業務の事務処理手続きの進捗状況について</li> <li>・ボランティア活動中にインフルエンザを罹患した学生について</li> <li>・2015年度活動報告書の作成状況について</li> <li>・フランシスコ修道会修道院での3.11ミサについて</li> <li>・2015年度活動報告書の配布について</li> <li>・活動報告書の製本について</li> <li>・活動報告書（総括版）のHPへのアップロードについて</li> <li>・HPの更新について</li> <li>・残金の寄付および口座の解約について</li> </ul>	

#### Ⅳ. 図書館利用状況

2015年度入館者統計(人数)

学科・学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	1,032	1,072	1,710	1,496	700	887	1,523	1,008	845	1,050	212	50	11,585
栄養学科	805	742	1,012	1,228	322	613	954	895	516	814	479	287	8,667
助産研究科	218	163	124	55	101	62	160	79	8	11	53	31	1,065
看護学専攻	26	29	31	36	26	25	33	27	24	36	35	13	341
栄養管理学 専攻	15	15	8	7	9	5	6	7	8	14	8	9	111
科目等履修生	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
教職員	200	219	203	157	166	165	156	182	179	168	201	140	2,136
学外者	31	53	42	32	28	34	27	35	26	8	19	8	343
合計	2,327	2,294	3,130	3,011	1,352	1,791	2,859	2,233	1,606	2,101	1,007	538	24,249

2015年度図書・視聴覚資料貸出統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看護学科	841	850	1,533	1,101	827	982	1,468	1,136	760	663	159	60	10,380
栄養学科	545	671	954	798	270	556	899	572	315	240	210	60	6,090
助産研究科	235	279	280	100	225	89	222	150	8	8	57	55	1,708
看護学専攻	50	44	44	77	35	40	63	61	62	43	56	34	609
栄養管理学 専攻	18	20	18	18	23	14	14	20	14	13	21	10	203
科目等履修生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教職員	274	287	251	181	177	187	187	152	174	147	161	147	2,325
学外者	10	23	35	13	8	15	23	34	28	10	1	0	200
合計	1,973	2,174	3,115	2,288	1,565	1,883	2,876	2,125	1,361	1,124	665	366	21,515

## XV. 情報処理室の利用状況

### 年間利用状況

学科・学年 室	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4301室(日中)	922	1,556	2,003	1,528	6,009	806	2,329	5,617	3,376	12,128	18,137
4301室(夜間)	200	322	445	711	1,678	154	208	614	472	1,448	3,126
4302室(日中)	3,978	2,956	1,694	1,065	9,693	5,365	3,196	4,131	2,098	14,790	24,483
4302室(夜間)	1,025	442	620	624	2,711	557	278	1,071	445	2,351	5,062
総計	6,125	5,276	4,762	3,928	20,091	6,882	6,011	11,433	6,391	30,717	50,808

### 月別学科学年利用状況

学科・学年 月	看護学科				看護 小計	栄養学科				栄養 小計	各室 計
	1年	2年	3年	4年		1年	2年	3年	4年		
4	705	667	306	474	2,152	717	579	940	554	2,790	4,942
5	630	614	369	594	2,207	733	436	1,612	706	3,487	5,694
6	958	629	1,049	658	3,294	1,189	903	1,410	817	4,319	7,613
7	804	519	740	421	2,484	1,039	809	1,587	844	4,279	6,763
8	0	152	201	123	476	8	19	374	440	841	1,317
9	322	114	458	208	1,102	507	97	1,323	607	2,534	3,636
10	707	653	536	499	2,395	702	344	1,215	683	2,944	5,339
11	951	702	373	607	2,633	772	1,205	641	811	3,429	6,062
12	482	601	179	302	1,564	479	664	1,295	569	3,007	4,571
1	523	526	502	29	1,580	627	885	714	130	2,356	3,936
2	32	75	34	13	154	67	53	160	118	398	552
3	11	24	15	0	50	42	17	162	112	333	383
総計	6,125	5,276	4,762	3,928	20,091	6,882	6,011	11,433	6,391	30,717	50,808

## Ⅷ. 施設・設備の状況

大学設置基準との対比

(単位：㎡)

	大学の現有面積	大学設置基準面積	大学設置基準との差（基準外を除く）
校地面積	30,390	6,910	23,550
校舎面積	14,124	6,402	7,722

校舎内訳

	建設年	経過年数	面積(㎡)	備考
1号館	1976 (S51)	35	937.76	2階建
2号館	1995 (H 7)	16	707.43	2階建 (耐震構造)
3号館	1963 (S38)	48	1,977.01	3階建 (耐震補強済)
4号館	1971 (S46)	40	2,429.06	3階建 (耐震補強済)
5号館	1980 (S55)	31	396.27	2階建
6号館	2000 (H12)	11	2,674.91	6階建 (耐震構造)
7号館	2002 (H14)	9	2,330.13	4階建 (耐震構造)
8号館	2004 (H 7)	7	1,855.69	4階建 (耐震構造)
体育館	1976 (S51)	35	736.52	
中沼グラウンド*更衣室	1992 (H 4)	19	79.38	平屋建
計	—	—	14,124.16	

学部・大学院研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科	講義室・演習室・学生学習室等	室数	総面積(㎡)	専用・共用の別	収容人員(総数)	学生総数	在学生1人当たり面積(㎡)	備考
看護栄養学部	講義室	12	1,519	共用	1,223	754	2.01	看護栄養学研究科と共用
	演習室	12	345	共用	221	805	0.52	大学院と共用
	学生学習室	2	288	共用	160	754	0.38	
看護栄養学研究科	講義室							
	学生学習室	2	272	共用	92	11	24.72	助産研究科と共用
助産研究科	講義室	2	227	専用	51	51	4.45	
	学生学習室	1	246	共用	82	62	3.96	看護栄養学研究科と共用
体育館		1	737					
講堂		1	737					

学部 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室名	収容人数	面積(m <sup>2</sup> )	1人当り面積(m <sup>2</sup> )
実験・実習室 (看護学科)	第1看護実習室	100	346	3.46
	第2看護実習室	10	41	4.10
	第3看護実習室	20	46	2.30
	第4看護実習室	10	23	2.30
	第5看護実習室	10	27	2.70
実験・実習室 (栄養学科)	理化学実験室	60	223	3.72
	生理学実験室・微生物学実験室	65	205	3.15
	動物実験室	5	6	1.20
	給食経営管理自習室・実習食堂	130	350	2.69
	第2臨床栄養実習室	60	386	6.43
	官能検査室	10	30	3.00
	食品・調理実験実習室(準備室含む)	60	257	4.28
	第1カウンセリング室	3	8	2.67
	第2カウンセリング室	3	9	3.00
	栄養教育実習室	60	155	2.58
第1臨床栄養実習室	15	45	3.00	
実験・実習室(共通)	和室	10	69	6.90
情報処理室	第1情報処理室	60	113	1.88
	第2情報処理室	56	138	2.46
計		747	2,477	3.32

大学院 of 学生用実験・実習室の面積・規模

分類	室数	総面積 (m <sup>2</sup> )	収容人数 (総数)	収容人員1人 当りの面積(m <sup>2</sup> )	使用研究科等	備考
実習室	19	2,477	747	3.32	看護栄養学研究科	看護栄養学部と共用
実習室	1	174	40	4.35	助産研究科	
計	20	2,651	787	3.37	—	—

## Ⅷ. 財務状況

貸借対照表関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	2014年度	他法人
1	自己資金は充実されているか	自己資金構成比率	△	$\frac{\text{自己資産}}{\text{総資産}}$	83.9	81.4
2		消費収支差額構成比率	△	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資産}}$	3.3	△14.6
3		基本金比率	△	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.7	96.0
4	長期資金で固定資産は賄われているか	固定比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	86.2	90.9
5		固定長期適合率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金} + \text{固定負債}}$	81.6	83.5
6	資産構成はどうなっているか	固定資産構成比率	▼	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	72.3	73.9
7		流動資産構成比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	27.7	26.1
8		減価償却比率 (図書を除く)	～	$\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得額}}$	47.9	44.6
9	負債に備える資産が蓄積されているか	内部留保資産比率※	△	$\frac{\text{内部留保資産}}{\text{総資産}}$	45.0	28.8
10		流動比率	△	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	243.2	227.5
11		前受金保有率	△	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	262.7	274.6
12		退職給与引当預金率	△	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	91.6	62.1
13	負債の割合はどうか	固定負債構成比率	▼	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資産}}$	4.7	7.2
14		流動負債構成比率	▼	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資産}}$	11.4	11.5
15		総負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	16.1	18.6
16		負債比率	▼	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	19.2	22.9

※内部留保資産 = その他の固定資産 + 流動資産 - 総負債

(注1)「評価」は△：高い値が良い ▼：低い値が良い ～：どちらともいえない を示す。

(注2)「他法人」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」2014年度版による。

## 消費収支計算書関係の財務比率表

(%)

	分類	比率	評価	算式	2014年度	他法人
1	経営状況はどうか	帰属収支差額比率	△	$\frac{\text{帰属収入} - \text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	5.8	9.5
2	収入構成はどうなっているか	学生生徒等納付金比率	～	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	80.7	79.6
3		寄付金比率	△	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	1.1	1.2
4		補助金比率	△	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	14.1	11.7
5		人件費比率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	63.2	53.7
6	支出構成は適切であるか	教育研究経費比率	△	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	25.5	29.6
7		管理経費比率	▼	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	5.3	6.5
8		借入金等利息比率	▼	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.0	0.4
9		基本金組入率	△	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	9.5	5.8
10		減価償却費比率	～	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	7.3	14.5
11		収入と支出のバランスは取れているか	人件費依存率	▼	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	78.4
12	消費収支比率		▼	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	104.2	96.1

## 編集後記：

天使大学看護栄養学部年報 - 自己点検・評価報告書 - 2015年度版が発行となりました。

年度末評価の一環として教職員間で現状の活動や課題を可視化するシステムづくりの一つとして学科、委員会等の活動評価報告および意見交換の内容をまとめたものとして、また大学全体における次への課題を明らかにするものとして利用していただくものになればと考えております。

今後も大学の課題を全教職員が認識し、課題の改善に向けた活動へと発展する自己点検評価活動を目指したいと思います。

大学の自己点検評価活動についての忌憚のないご意見等を今後もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2016年6月

自己点検評価委員会委員長 山部 秀子

## 2016年度 自己点検評価委員会

委員長：山部 秀子（栄養学科）

委員：大久保岩男（看護栄養学研究科長）

園生 陽子（助産研究科長）

佐藤 昇子（看護学科長）

山口 敦子（栄養学科長）

川口 雄一（教養教育科長）

佐保 末男（事務局長）

吉田礼維子（看護学科）

総務課：上村 俊哉



2015年度

天使大学 看護栄養学部

年 報

—自己点検・評価報告書—

2016年6月発行

自己点検評価委員会

---

天使大学

〒065-0013 北海道札幌市東区北13条東3丁目1番30号

TEL 011-741-1051 FAX 011-741-1077

<http://www.tenshi.ac.jp>

---